



INDEX

- A
- AAA ダウン ポリシー、NAC レイヤ 2 IP 検証 1-9
 - ABR 35-27
 - access-class コマンド 32-21
 - ACE
 - IP 32-2
 - QoS 33-7
 - イーサネット 32-2
 - 定義 32-2
 - ACL
 - ACE 32-2
 - any キーワード 32-14
 - host キーワード 32-14
 - IP
 - 暗黙の拒否 32-11, 32-16, 32-17
 - 一致条件 32-8
 - 作成 32-8
 - フラグメントおよび QoS に関する注意事項 33-33
 - 未定義 32-22
 - 無視マスク 32-11
 - IPv4
 - 一致条件 32-8
 - インターフェイスへの適用 32-21
 - 作成 32-8
 - サポートしない機能 32-8
 - 端末回線、設定 32-20
 - 名前付き 32-16
 - 番号 32-9
 - IPv6
 - 一致条件 38-3
 - インターフェイスへの適用 38-8
 - サポートしない機能 38-3
 - 制限事項 38-3
 - 設定 38-4, 38-5
 - 名前付き 38-3
 - 表示 38-10
 - 他の機能との相互作用 38-4
 - 優先 38-2
 - MAC 拡張 32-29, 33-46
 - QoS 33-7, 33-44
 - QoS クラス マップあたりの個数 33-33
 - QoS のトラフィックの分類 33-44
 - VLAN マップ
 - 設定 32-32
 - 設定時の注意事項 32-32
 - エントリのシーケンスの再編集 32-16
 - 拡張 IPv4
 - 一致条件 32-8
 - 作成 32-11
 - 拡張 IP、QoS の分類設定 33-45
 - コメント 32-20
 - コンパイル 32-24
 - サポート 1-8
 - サポート タイプ 32-2
 - サポートしない機能、IPv4 32-8
 - サポートしない機能、IPv6 38-3
 - 時間範囲 32-18
 - 照合 32-8, 32-22, 38-3
 - 定義 32-2, 32-8
 - 適用
 - IPv6 インターフェイス 38-9
 - QoS 33-7
 - インターフェイス 32-21, 38-8
 - 時間範囲 32-18
 - スイッチド パケット 32-40
 - ブリッジド パケット 32-41
 - マルチキャスト パケット 32-42
 - ルーテッド パケット 32-41
 - 名前 38-4
 - 名前付き、IPv4 32-16
 - 名前付き、IPv6 38-3
 - ハードウェアおよびソフトウェアの処理 32-23
 - ハードウェアのサポート 32-23
 - 標準 IPv4
 - 一致条件 32-8
 - 作成 32-10

- 標準 IP、QoS の分類設定 33-44
- ポート 32-2, 38-2
- モニタ 32-43, 38-10
- 優先 32-3
- ルータ 32-2, 38-2
- ルータ ACL と VLAN マップの設定時の注意事項 32-39
- ルータ ACL を VLAN マップと組み合わせて使用する方法 32-39
- 例 32-24, 33-44
- レイヤ 4 情報 32-40
- ログメッセージ 32-10
- ACL エントリのシーケンスの再編集 32-16
- AC (アクティブ クラスタ コマンド スイッチ) 5-9
- Address Resolution Protocol
 - ARP を参照
- Area Border Router
 - ABR を参照
- ARP
 - カプセル化 35-10
 - スタティック キャッシュの設定 35-9
 - 設定 35-9
 - 定義 1-5, 6-28, 35-9
 - テーブル
 - アドレス解決 6-28
 - 管理 6-28
- AS パス フィルタ、BGP 35-56
- ASBR 35-27
- AS、BGP 内 35-49
- Auto-MDIX
 - 設定 10-22
 - 説明 10-22
- Autonomous System Boundary Router
 - ASBR を参照
- B**
- BackboneFast
 - イネーブル化 19-15
 - サポート 1-6
 - 説明 19-6
 - ディセーブル化 19-15
- BGP
 - CIDR 35-62
 - clear コマンド 35-65
 - show コマンド 35-65
- イネーブル化 35-49
- コミュニティ フィルタリング 35-58
- サポート 1-10
- 集約アドレス 35-62
- 集約ルート、設定 35-62
- スーパーネット 35-62
- セッションのリセット 35-52
- 説明 35-46
- デフォルト設定 35-47
- ネイバーの設定 35-60
- ネイバー、タイプ 35-49
- バージョン 4 35-46
- パスの選択 35-53
- ピア、設定 35-60
- プレフィクス フィルタリング 35-57
- マルチ VRF CE におけるルーティング セッション 35-72
- マルチパス サポート 35-53
- モニタ 35-65
- ルーティング ドメイン連合 35-63
- ルート ダンピング化 35-64
- ルート マップ 35-55
- ルート リフレクタ 35-63
- Border Gateway Protocol
 - BGP を参照
- BPDU
 - errdisable ステート 19-3
 - RSTP フォーマット 18-12
 - フィルタリング 19-3
- BPDU ガード
 - イネーブル化 19-12
 - サポート 1-6
 - 説明 19-3
 - ディセーブル化 19-12
- BPDU フィルタリング
 - イネーブル化 19-13
 - サポート 1-6
 - 説明 19-3
 - ディセーブル化 19-14
- Bridge Protocol Data Unit
 - BPDU を参照
- C**
- CA の信頼点 8-42
 - 設定 8-45

- 定義 8-42
- CDP
 - LLDP による定義 26-2
 - イネーブル化およびディセーブル化
 - インターフェイス上 25-5
 - スイッチ上 25-4
 - 概要 25-2
 - 更新 25-3
 - サポート 1-5
 - 信頼境界機能 33-39
 - スイッチクラスタの自動検出 5-4
 - 設定 25-3
 - 説明 25-2
 - タイマーおよびホールドタイム、設定 25-3
 - デフォルト設定 25-3
 - 電力ネゴシエーションの拡張機能 10-7
 - モニタ 25-6
 - ルーティング デバイスでのディセーブル化 25-4?25-5
 - レイヤ 2 プロトコル トンネリング 16-9
- CE デバイス 35-68
- CE デバイス内のマルチ VRF
 - マルチ VRF CE を参照
- CEF
 - IPv6 36-15
 - イネーブル化 35-79
 - 定義 35-78
- CGMP
 - IGMP スヌーピングの学習方法 23-9
 - 概要 41-10
 - キャッシュに格納されたグループ エントリのクリア 41-54
 - サーバ サポート機能 41-10
 - サーバ サポート機能のイネーブル化 41-36
 - スイッチ サポート 1-4
 - マルチキャスト グループへの加入 23-3
- CIDR 35-62
- CipherSuite 8-43
- CipherSuite 暗号化 8-44
- Cisco 7960 IP Phone 14-2
- Cisco Discovery Protocol
 - CDP を参照
- Cisco Express Forwarding
 - CEF を参照
- Cisco Group Management Protocol
 - CGMP を参照
- Cisco IOS DHCP サーバ
 - DHCP を参照
- Cisco IOS ファイル システム
 - IFS を参照
- Cisco Network Assistant
 - Network Assistant を参照
- CiscoWorks 2000 1-5, 31-5
- CIST リージョナル ルート
 - MSTP を参照
- CIST ルート
 - MSTP を参照
- Classless InterDomain Routing
 - CIDR を参照
- CLI
 - エラー メッセージ 2-5
 - クラスタの管理 5-15
 - コマンドモード 2-2
 - コマンド出力のフィルタリング 2-11
 - コマンドの no および default 形式 2-5
 - コマンドの省略 2-4
 - コンフィギュレーション ロギング 2-6
 - 説明 1-5
 - ヘルプ、表示 2-4
 - 編集機能
 - イネーブル化およびディセーブル化 2-8
 - 画面幅よりも長いコマンドライン 2-10
 - キーストロークによる編集 2-9
 - 履歴
 - コマンドの呼び出し 2-7
 - 説明 2-7
 - ディセーブル化 2-8
 - バッファ サイズの変更 2-7
- CNS 1-5
 - Configuration Engine
 - ConfigID、DeviceID、ホスト名 4-4
 - イベント サービス 4-3
 - コンフィギュレーション サービス 4-3
 - 説明 4-2
 - 管理機能 1-5
 - 組み込み型エージェント
 - イベント エージェントのイネーブル化 4-9
 - コンフィギュレーション エージェントのイネーブル化 4-10
 - 自動設定のイネーブル化 4-8
 - 説明 4-6

- Coarse Wave Division Multiplexer
 - CWDM SFP も参照
 - config.text 3-13
 - configure terminal コマンド 10-11
 - config-vlan モード 2-3, 12-8
- CoS
 - プライオリティの信頼 14-7
 - プライオリティの変更 14-7
 - レイヤ2 フレーム 33-2
- CoS/DSCP マップ、QoS 33-63
- crashinfo ファイル 44-28
- CWDM SFP 1-23

- D
 - default コマンド 2-5
 - description コマンド 10-26
- DHCP
 - Cisco IOS サーバ データベース
 - 設定 21-14
 - 説明 21-7
 - デフォルト設定 21-9
 - イネーブル化
 - サーバ 21-11
 - リレー エージェント 21-11
- DHCP Option 82
 - 回線 ID サブオプション 21-5
 - 概要 21-4
 - 設定時の注意事項 21-10
 - デフォルト設定 21-9
 - 転送アドレス、指定 21-11
 - パケット フォーマット、サブオプション
 - 回線 ID 21-5
 - リモート ID 21-5
 - 表示 21-16
 - ヘルパー アドレス 21-11
 - リモート ID サブオプション 21-5
- DHCP スヌーピング
 - Option 82 データ挿入 21-4
 - trusted インターフェイス 21-3
 - untrusted インターフェイス 21-3
 - untrusted メッセージ 21-3
 - エッジスイッチからの untrusted パケットの受信
 - 21-3, 21-13
 - 設定時の注意事項 21-10
 - デフォルト設定 21-9
 - バインディング データベース
 - DHCP スヌーピング バインディング データベースを参照
 - バインディング テーブルの表示 21-16
 - プライベート VLAN 21-14
 - メッセージ交換プロセス 21-5
- DHCP スヌーピング バインディング データベース
 - イネーブル化 21-15
 - エージェント統計情報の消去 21-15
 - エントリ 21-7
 - 削除
 - データベース エージェント 21-15
 - バインディング 21-15
 - バインディング ファイル 21-15
 - 設定 21-15
 - 設定時の注意事項 21-10
 - 説明 21-7
 - データベースの更新 21-15
 - デフォルト設定 21-9
 - バインディング 21-7
 - バインディング ファイル
 - フォーマット 21-8
 - 保存場所 21-7
 - バインディングの追加 21-15
 - 表示 21-16
 - ステータスおよび統計情報 21-16
 - バインディング エントリ 21-16
 - リセット
 - タイムアウト値 21-15
 - 遅延値 21-15
- DHCP スヌーピング バインディング テーブル
 - DHCP スヌーピング バインディング データベースを参照
- DHCP バインディング データベース
 - DHCP スヌーピング バインディング データベースを参照
- DHCP バインディング テーブル
 - DHCP スヌーピング バインディング データベースを参照
- DHCP ベースの自動設定
 - BOOTP との関係 3-4
 - 概要 3-4
 - クライアント要求のメッセージ交換 3-4
 - サポート 1-5
 - 設定
 - DNS 3-7
 - TFTP サーバ 3-6

- クライアント側 3-4
 - サーバ 21-11
 - サーバ側 3-5
 - リレー デバイス 3-7
 - リース オプション
 - IP アドレス情報 3-5
 - コンフィギュレーション ファイルの受信 3-6
 - リレー サポート 1-5, 1-11
 - 例 3-9
 - Differentiated Services Code Point 33-2
 - DiffServ アーキテクチャ、QoS 33-2
 - Diffusing Update Algorithm (DUAL) 35-37
 - distribute-list コマンド 35-90
 - DNS
 - DHCP ベースの自動設定 3-7
 - IPv6 内 36-4
 - 概要 6-17
 - サポート 1-5
 - 設定 6-17
 - 設定の表示 6-18
 - デフォルト設定 6-17
 - DoS 攻撃 24-2
 - dot1q-tunnel スイッチポート モード 12-21
 - DSCP 1-9, 33-2
 - DSCP/CoS マップ、QoS 33-66
 - DSCP/DSCP 変換マップ、QoS 33-67
 - DTP 1-7, 12-20
 - DUAL 有限状態マシン、EIGRP 35-38
 - DVMRP
 - DVMRP ルータへの PIM ドメインの接続 41-42
 - mrinfo 要求、応答 41-45
 - 概要 41-9
 - サポート 1-11
 - 自動サマライズ
 - サマリー アドレスの設定 41-50
 - ディセーブル化 41-52
 - 相互運用性
 - Cisco IOS ソフトウェア 41-9
 - シスコ デバイス 41-40
 - 送信元配信ツリー、構築 41-9
 - トンネル
 - 設定 41-42
 - ネイバー情報の表示 41-45
 - ネイバー
 - 情報の表示 41-45
 - デフォルト ルートのアドバタイズ 41-44
 - 非プルーニング ネイバーとのピアリングの禁止 41-48
 - 非プルーニング ネイバーの拒否 41-47
 - プローブ メッセージによる検出 41-40
 - ユニキャスト ルーティングのイネーブル化 41-46
 - ルーティング テーブル 41-9
 - ルート
 - MBONE に入る個数の制限 41-49
 - Syslog メッセージのしきい値の変更 41-49
 - 削除 41-54
 - すべてをアドバタイズ 41-52
 - ネイバーへのデフォルト ルートのアドバタイズ 41-44
 - 表示 41-55
 - メトリック オフセットの追加 41-52
 - 優先度 41-52
 - ユニキャスト ルート アドバタイズメントの制限 41-40
 - レポート メッセージで取得された DVMRP ルートのキャッシュへの格納 41-46
 - dynamic auto トランッキング モード 12-20
 - dynamic desirable トランッキング モード 12-20
 - Dynamic Host Configuration Protocol
 - DHCP ベースの自動設定を参照
 - Dynamic Trunking Protocol
 - DTP を参照
- ## E
- EBGP 35-45
 - EIGRP
 - インターフェイス パラメータ、設定 35-41
 - コンポーネント 35-37
 - サポート 1-10
 - スタブ ルーティング 35-42
 - 設定 35-40
 - 定義 35-37
 - デフォルト設定 35-38
 - 認証 35-41
 - モニタ 35-44
 - Enhanced IGRP
 - EIGRP を参照
 - errdisable ステート、BPDU 19-3

EtherChannel

IEEE 802.3ad、説明 34-5

LACP

システムプライオリティ 34-19

ステータスの表示 34-21

説明 34-5

他の機能との相互作用 34-6

ポートプライオリティ 34-20

ホットスタンバイポート 34-18

モード 34-5

PAgP

Catalyst 1900 との互換性 34-17

学習方式およびプライオリティの設定
34-17

サポート 1-4

集約ポート ラーナー 34-17

ステータスの表示 34-21

説明 34-4

他の機能との相互作用 34-5

モード 34-4

サポート 1-4

自動作成 34-4, 34-5

ステータスの表示 34-21

設定

レイヤ 2 インターフェイス 34-11

レイヤ 3 物理インターフェイス 34-14

レイヤ 3 ポートチャンネル論理インターフェイス
34-13

設定時の注意事項 34-10

説明 34-2

相互作用

STP 34-10

VLAN 34-10

チャンネルグループ

番号 34-3

物理インターフェイスと論理インターフェイスの
バインド 34-3

デフォルト設定 34-9

転送方式 34-6, 34-16

ポートグループ 10-6

ポートチャンネルインターフェイス

説明 34-3

番号 34-3

レイヤ 3 インターフェイス 35-4

ロードバランシング 34-6, 34-16

論理インターフェイス、説明 34-3

EtherChannel ガード

イネーブル化 19-15

説明 19-8

ディセーブル化 19-15

EUI 36-4

Express Setup 1-3

Extended Universal Identifier

EUI を参照

Extensible Authentication Protocol over LAN 9-2

External BGP

EBGP を参照

F

fa0 インターフェイス 1-6

FIB 35-78

Flex Link

VLAN 20-3

VLAN ロードバランシングの設定 20-8
設定 20-7

設定時の注意事項 20-6

説明 20-2

デフォルト設定 20-6

モニタ 20-12

優先 VLAN の設定 20-10

リンク ロードバランシング 20-3

Flex Link の VLAN ロードバランシング 20-3

設定時の注意事項 20-6

Forwarding Information Base

FIB を参照

FTP

MIB ファイルへのアクセス A-3

イメージファイル

アップロード B-30

準備、サーバ B-27

ダウンロード B-28

古いイメージの削除 B-30

コンフィギュレーションファイル

アップロード B-15

概要 B-13

準備、サーバ B-14

ダウンロード B-14

G

get-bulk-request 動作 31-4

- get-next-request 動作 31-4, 31-5
- get-request 動作 31-4, 31-5
- get-response 動作 31-4
- GUI
 - デバイス マネージャおよび Network Assistant を参照
- H
- Hello タイム
 - MSTP 18-23
 - STP 17-21
- Hot Standby Router Protocol
 - HSRP を参照
- HP OpenView 1-5
- HSRP
 - ICMP リダイレクト メッセージのサポート 39-11
 - オブジェクト トラッキング 39-19
 - 概要 39-2
 - クラスタ グループにバインド 39-11
 - クラスタ スタンバイ グループの考慮事項 5-10
 - クラスタ設定の自動復旧 5-12
 - クラスタ、クラスタ スタンバイ グループ、およびスタンバイ コマンド スイッチも参照
 - コマンドスイッチの冗長構成 1-2, 1-6
 - 設定 39-5
 - タイマー 39-10
 - 注意事項 39-5
 - 定義 39-1
 - デフォルト設定 39-5
 - トラッキング 39-7
 - 認証ストリング 39-10
 - プライオリティ 39-7
 - モニタ 39-12
 - レイヤ 3 ルータの冗長構成 1-10
- HTTPS 8-42
 - 自己署名証明書 8-43
 - 設定 8-46
- I
- IBGP 35-45
- ICMP
 - IPv6 36-4
 - time-to-live-exceeded メッセージ 44-20
 - traceroute 44-20
 - サポート 1-11
 - 到達不能メッセージ 32-21
 - 到達不能メッセージおよび IPv6 38-4
 - 到達不能、ACL 32-23
 - リダイレクト メッセージ 35-12
- ICMP ping
 - 概要 44-16
 - 実行 44-16
- ICMP Router Discovery Protocol
 - IRDP を参照
- ICMPv6 36-4
- IDS 装置
 - 入力 RSPAN 28-22
 - 入力 SPAN 28-14
- IEEE 802.1D
 - STP を参照
- IEEE 802.1p 14-2
- IEEE 802.1Q
 - カプセル化 12-19
 - 設定に関する制約 12-21
 - その他の機能を含むトンネル ポート 16-7
 - タグなしトラフィック用のネイティブ VLAN 12-27
 - トランク ポート 10-4
 - トンネリング
 - 説明 16-2
 - 他の機能との互換性 16-7
 - デフォルト値 16-5
- IEEE 802.1s
 - MSTP を参照
- IEEE 802.1w
 - RSTP を参照
- IEEE 802.1x
 - ポートベース認証を参照
- IEEE 802.3ad
 - EtherChannel を参照
- IEEE 802.3af
 - PoE を参照
- IEEE 802.3x フロー制御 10-21
- ifIndex 値、SNMP 31-6
- IFS 1-6
- IGMP
 - Join メッセージ 23-3
 - 概要 41-3
 - キャッシュ エントリの削除 41-54

- クエリー 23-4
- グループへのアクセスの制御 41-31
- 高速スイッチング 41-35
- サポート 1-4
- サポート対象のバージョン 23-3
- スイッチの設定
 - グループのメンバー 41-30
 - スタティックに接続されたメンバー 41-35
- 即時脱退、イネーブル化 23-11, 37-10
- 脱退タイマーの設定
 - イネーブル化 23-12
 - 説明 23-6
- デフォルト設定 41-30
- 統計情報の表示 41-55
- バージョン 1
 - 説明 41-3
 - バージョン 2 への変更 41-32
- バージョン 2
 - クエリー タイムアウト 41-34
 - グループのプルーニング 41-34
 - 最大クエリー応答時間 41-34
 - 説明 41-3
 - バージョン 1 への変更 41-32
- ホストクエリー インターバル、変更 41-33
- マルチキャスト グループからの脱退 23-5
- マルチキャスト グループへの加入 23-3
- マルチキャスト トラフィックのフラッディング
 - インターフェイスでディセーブル 23-14
 - クエリー送信要求 23-13
 - グローバル Leave 23-13
 - 時間の制御 23-13
 - フラッディング モードからの回復 23-13
- マルチキャストの到達可能性 41-30
- レポートの抑制
 - 説明 23-6
 - ディセーブル化 23-16, 37-12
- IGMP グループ
 - 最大数の設定 23-29
 - フィルタリングの設定 23-30
- IGMP スヌーピング
 - VLAN 設定 23-8
 - アドレス エイリアス 23-2
 - イネーブル化およびディセーブル化 23-8, 37-7
 - クエリア
 - 設定 23-14
 - 設定時の注意事項 23-14
 - グローバル コンフィギュレーション サポート 23-8
 - サポート 1-4
 - サポート対象のバージョン 23-3
 - 設定 23-7
 - 即時脱退 23-5
 - 定義 23-2
 - デフォルト設定 23-7, 37-6, 37-7
 - 方法 23-9
 - モニタ 23-17, 37-13
- IGMP スロットリング
 - 設定 23-30
 - 説明 23-26
 - デフォルト設定 23-27
 - 表示 23-31
- IGMP 即時脱退
 - イネーブル化 23-11
 - 設定時の注意事項 23-12
 - 説明 23-5
- IGMP フィルタリング
 - サポート 1-4
 - 設定 23-27
 - 説明 23-26
 - デフォルト設定 23-27
 - モニタ 23-31
- IGMP プロファイル
 - コンフィギュレーション モード 23-27
 - 設定 23-27
 - 適用 23-28
- IGP 35-27
- interface range macro コマンド 10-14
- interface コマンド 10-11
- Interior Gateway Protocol
 - IGP を参照
- Internal BGP
 - IBGP を参照
- Internet Control Message Protocol
 - ICMP を参照
- Internet Protocol version 6
 - IPv6 を参照
- IP ACL
 - QoS の分類 33-7
 - 暗黙の拒否 32-11, 32-16
 - 名前付き 32-16
 - 未定義 32-22
 - 無視マスク 32-11
- ip cef コマンド 35-78

- ip igmp profile コマンド 23-27
- IP Phone
 - QoS 14-2
 - QoS によるポートセキュリティの確保 33-39
 - QoS 信頼境界機能 33-39
 - 自動分類およびキューイング 33-21
 - 設定 14-5
- IP precedence 33-2
- IP traceroute
 - 概要 44-20
 - 実行 44-20
- IP アドレス
 - 128 ビット 36-2
 - IP 情報も参照
 - IP ルーティング 35-5
 - IPv6 36-2
 - MAC アドレスとの相互作用 35-8
 - クラス 35-6
 - クラスタ アクセス 5-2
 - 検出 6-28
 - 候補またはメンバー 5-3, 5-12
 - コマンドスイッチ 5-3, 5-10, 5-12
 - 冗長クラスタ 5-10
 - スタンバイ コマンドスイッチ 5-10, 5-12
 - デフォルト設定 35-5
 - モニタ 35-18
- IP サービス イメージ 1-2
- IP 指定ブロードキャスト 35-14
- IP 情報
 - デフォルト設定 3-3
 - 割り当て
 - DHCP ベースの自動設定の使用 3-4
 - 手動 3-11
- IP ソース ガード
 - 802.1x 21-19
 - DHCP スヌーピング 21-17
 - EtherChannel 21-19
 - TCAM エントリ 21-19
 - VRF 21-19
 - イネーブル化 21-20
 - スタティック バインディング
 - 削除 21-20
 - 追加 21-20
 - 設定時の注意事項 21-19
 - 説明 21-17
 - 送信元 IP アドレス フィルタリング 21-17
 - 送信元 IP および MAC アドレス フィルタリング 21-18
 - ディセーブル化 21-20
 - デフォルト設定 21-19
 - トランク インターフェイス 21-19
 - バインディング テーブル 21-17
 - バインディング設定
 - 自動 21-17
 - 手動 21-17
 - 表示
 - 設定 21-21
 - バインディング 21-21
 - フィルタリング
 - 送信元 IP アドレス 21-17
 - 送信元 IP および MAC アドレス 21-18
 - プライベート VLAN 21-19
 - ポート セキュリティ 21-19
 - ルーテッド インターフェイス 21-19
- IP ブロードキャスト アドレス 35-16
- IP プロトコル
 - ACL 32-13
 - ルーティング 1-10
- IP ベース イメージ 1-2
- IP マルチキャスト ルーティング
 - CGMP も参照
 - DVMRP も参照
 - IGMP スヌーピング 23-2
 - IGMP も参照
 - MBONE
 - sdr キャッシュ エントリの削除 41-54
 - sdr キャッシュ エントリの存在期間の制限 41-38
 - sdr キャッシュの表示 41-55
 - sdr リスナー サポート機能のイネーブル化 41-37
 - Session Directory (sdr) ツール、説明 41-37
 - アドバタイズされる DVMRP ルートの制限 41-49
 - 会議セッション アナウンスメント用の SAP パケット 41-37
 - 説明 41-37
 - PIM も参照
 - PIMv1 および PIMv2 の相互運用性 41-12
 - Reverse Path Forwarding (RPF) チェック 41-8
 - RP
 - PIMv2 BSR の設定 41-21
 - 自動 RP および BSR の使用法 41-25

- 自動 RP の設定 41-17
- 手動割り当て 41-15
- マッピング情報のモニタ 41-26
- アドレス
 - すべてのシステム 41-3
 - すべてのマルチキャスト ルータ 41-3
 - ホスト グループ アドレス範囲 41-3
- イネーブル化
 - PIM モード 41-14
 - マルチキャスト転送 41-13
- 管理の有効範囲付き境界、説明 41-38
- グループ /RP マッピング
 - BSR 41-7
 - 自動 RP 41-6
- シスコの実装 41-2
- 自動 RP
 - BSR との使用方法 41-25
 - 概要 41-6
 - 既存の SM クラウドへの追加 41-17
 - キャッシュのクリア 41-54
 - 候補 RP スプーフィングの禁止 41-20
 - 新規インターネットワークでの設定 41-17
 - 設定時の注意事項 41-12
 - 着信 RP アナウンスメント メッセージのフィルタリング 41-20
 - 問題のある RP への Join メッセージの送信禁止 41-19
 - 利点 41-17
- 設定
 - IP マルチキャスト境界 41-38
 - 基本的なマルチキャスト ルーティング 41-13
- デフォルト設定 41-11
- 統計情報、システムおよびネットワークの表示 41-54
- ブートストラップ ルータ
 - IP マルチキャスト境界の定義 41-22
 - PIM ドメイン境界の定義 41-21
 - 概要 41-7
 - 候補 BSR の設定 41-23
 - 候補 RP の設定 41-24
 - 自動 RP による使用方法 41-25
 - 設定時の注意事項 41-12
- プロトコルの動作 41-2
- マルチキャスト転送、説明 41-8
- モニタ
 - パケット速度および損失情報 41-56
 - パスのトレース 41-56
 - ピアリング デバイス 41-56
 - ルーティング テーブル
 - 削除 41-54
 - 表示 41-55
- IP ユニキャスト ルーティング
 - ARP 35-9
 - BGP も参照
 - EIGRP も参照
 - EtherChannel レイヤ 3 インターフェイス 35-4
 - IGP 35-27
 - IP アドレス
 - クラス 35-6
 - 設定 35-5
 - IPv6 36-3
 - IRDP 35-12
 - MAC アドレスおよび IP アドレス 35-8
 - OSPF も参照
 - RIP も参照
 - SVI を使用 35-4
 - UDP 35-16
 - VLAN 間 35-2
 - アドレス解決 35-8
 - イネーブル化 35-20
 - 管理距離 35-80, 35-91
 - 逆アドレス解決 35-8
 - クラスレス ルーティング 35-7
 - 再配信 35-82
 - サブネット ゼロ 35-6
 - サブネット マスク 35-6
 - 指定ブロードキャスト 35-14
 - スーパーネット 35-7
 - スタティック ルーティング 35-3
 - スタティック ルートの設定 35-80
 - 設定手順 35-4
 - ダイナミック ルーティング 35-3
 - ディセーブル化 35-20
 - デフォルト
 - アドレス指定の設定 35-5
 - ゲートウェイ 35-12
 - ネットワーク 35-81
 - ルーティング 35-3
 - ルート 35-81
 - 認証鍵 35-92
 - パッシブ インターフェイス 35-90

- ブロードキャスト
 - アドレス 35-16
 - ストーム 35-14
 - パケット 35-14
 - フラッドイング 35-17
 - プロキシ ARP 35-9
 - プロトコル
 - ダイナミック 35-3
 - ディスタンス ベクタ 35-3
 - リンクステート 35-3
 - ルーテッド ポート 35-4
 - レイヤ3 インターフェイス 35-4
 - レイヤ3 インターフェイスへの IP アドレスの割り当て 35-6
 - IP ルーティング
 - イネーブル化 35-20
 - インターフェイスの接続 10-10
 - ディセーブル化 35-20
 - IP ルーティング ステート トラッキング 39-13
 - IP ルート、モニタ 35-93
 - IPv4 ACL
 - インターフェイスへの適用 32-21
 - 拡張、作成 32-11
 - 名前付き 32-16
 - 標準、作成 32-10
 - IPv4 と IPv6
 - インターフェイスの設定 36-13
 - 相違点 36-2
 - デュアル プロトコル スタック 36-6
 - IPv6
 - ACL
 - 一致条件 38-3
 - 制限事項 38-3
 - 表示 38-10
 - ポート 38-2
 - 優先順位 38-2
 - ルータ 38-2
 - CEFv6 36-15
 - ICMP 36-4
 - ICMP レート制限 36-15
 - OSPF 36-20
 - RIP 36-18
 - SDM テンプレート 7-3, 36-8, 37-1, 38-1
 - アドレス 36-2
 - アドレス フォーマット 36-3
 - アドレスの割り当て 36-10
 - アプリケーション 36-6
 - イネーブル化 36-10
 - 機能制限 36-7
 - 近接ディスカバリ 36-4
 - サポートされている機能 36-3
 - サポートされない機能 36-7
 - 自動設定 36-5
 - スイッチの制限 36-7
 - スタティック ルートの設定 36-16
 - 定義 36-1
 - デフォルト設定 36-10
 - パス MTU ディスカバリ 36-4
 - 目的 36-2
 - モニタ 36-23
 - 利点 36-2
 - IPv6 トラフィック、フィルタリング 38-4
 - IRDP
 - サポート 1-11
 - 設定 35-12
 - 定義 35-12
 - ISL
 - IEEE 802.1 トンネリングによるトランキング 16-5
 - IPv6 36-3
 - カプセル化 1-7, 12-19
 - トランク ポート 10-4
- ## J
- Join メッセージ、IGMP 23-3
- ## K
- KDC
 - Kerberos も参照
 - 説明 8-32
 - Kerberos
 - KDC 8-32
 - TGT 8-34
 - 暗号化ソフトウェア イメージ 8-32
 - サーバ 8-34
 - サポート 1-9
 - 証明書 8-32
 - 信頼できるサードパーティとしてのスイッチ 8-32
 - 設定 8-36

- 設定例 8-32
- 説明 8-32
- チケット 8-32
- 動作 8-34
- 認証の取得
 - KDC 8-35
 - 境界スイッチ 8-35
 - ネットワーク サービス 8-35
- 用語 8-33
- レルム 8-34
- Key Distribution Center
 - KDC を参照
- L
- l2protocol-tunnel コマンド 16-14
- LACP
 - EtherChannel を参照
 - レイヤ 2 プロトコル トンネリング 16-10
- LDAP 4-3
- LED、スイッチ 44-1
- Lightweight Directory Access Protocol
 - LDAP を参照
- Link Aggregation Control Protocol
 - EtherChannel を参照
- Link Layer Discovery Protocol
 - CDP を参照
- Link State Advertisement (LSA) 35-31
- LLDP
 - 概要 26-2
 - サポートされる TLV 26-2
 - スイッチ スタックの考慮事項 26-2
 - 設定 26-4
 - デフォルト設定 26-4
 - 特性 26-4
 - タイマーおよびホールドタイム、設定 26-4
 - ディセーブル化およびイネーブル化
 - インターフェイス上 26-6
 - グローバル 26-5
 - モニタリングおよびメンテナンス 26-8
- LLDP Media Endpoint Discovery
 - LLDP-MED を参照
- LLDP-MED
 - 概要 26-2
 - サポートされる TLV 26-2
- 設定
 - TLV 26-6
 - 手順 26-4
 - モニタリングおよびメンテナンス 26-8
- Long-Reach Ethernet (LRE) テクノロジー 1-17
- LRE プロファイル、スイッチ クラスタの考慮事項 5-14
- M
- MAB エージング タイマー 1-7
- MAB 無活動タイマー
 - デフォルト設定 9-22
 - 範囲 9-24
- MAC アドレス
 - ACL 32-29
 - IP アドレスとの相互作用 35-8
 - IP 送信元バインディング テーブルでの表示 21-21
 - VLAN との対応付け 6-22
 - アドレス テーブルの作成 6-21
 - エージング タイム 6-22
 - 検出 6-28
 - スタティック
 - 許可 6-27
 - 削除 6-26
 - 追加 6-25
 - 特性 6-25
 - 廃棄 6-27
 - ダイナミック
 - 削除 6-23
 - ラーニング 6-21
 - デフォルト設定 6-22
 - 表示 6-28
- MAC アドレス テーブル移動更新
 - 設定 20-10
 - 設定時の注意事項 20-6
 - 説明 20-4
 - デフォルト設定 20-6
 - モニタ 20-12
- MAC アドレス通知、サポート 1-12
- MAC アドレスと VLAN のマッピング 12-31
- MAC 拡張 ACL
 - QoS の設定 33-46
 - QoS の分類 33-5
 - 作成 32-29

- 定義 32-29
- レイヤ 2 インターフェイスへの適用 32-30
- MAC 認証バイパス
 - MAB を参照
- maximum-paths コマンド 35-53, 35-79
- MDA
 - 設定時の注意事項 9-19, 9-20
 - 説明 1-8, 9-19
 - 認証プロセスの例外 9-4
- MHSRP 39-4
- MIB
 - FTP によるファイルへのアクセス A-3
 - SNMP との相互作用 31-5
 - 概要 31-2
 - サポート A-1
 - ファイルの位置 A-3
- MSDP
 - DM 領域
 - SA メッセージの送信 42-16
 - 発信元アドレスの設定 42-17
 - MSDP 接続および統計情報のクリア 42-18
 - SA メッセージ
 - TTL によるデータの制限 42-13
 - アダプタイズされる送信元の制限 42-9
 - キャッシュ エントリのクリア 42-18
 - キャッシング 42-6
 - 着信のフィルタリング 42-13
 - 定義 42-2
 - ピアからのフィルタリング 42-10
 - ピアへのフィルタリング 42-12
 - モニタ 42-18
 - 概要 42-2
 - 加入遅延、定義 42-6
 - サポート 1-11
 - 送信元情報の制御
 - スイッチから発信 42-8
 - スイッチで受信 42-13
 - スイッチで転送 42-11
 - デフォルト設定 42-4
 - 発信元アドレス、変更 42-17
 - ピア
 - シャットダウン 42-15
 - 送信元情報の要求 42-8
 - デフォルト設定 42-4
 - ピアリング関係、概要 42-2
 - モニタ 42-18
 - ピア RPF フラッドイング 42-2
 - フィルタリング
 - 着信 SA メッセージ 42-13
 - ピアからの SA 要求メッセージ 42-10
 - ピアへの SA メッセージ 42-12
 - メッシュ グループ
 - 設定 42-15
 - 定義 42-15
 - 利点 42-3
- MSTP
 - BPDU ガード
 - イネーブル化 19-12
 - 説明 19-3
 - BPDU フィルタリング
 - イネーブル化 19-13
 - 説明 19-3
 - CIST リージョナル ルート 18-3
 - CIST ルート 18-5
 - CIST、説明 18-3
 - CST
 - 定義 18-3
 - リージョン間の動作 18-4
 - EtherChannel ガード
 - イネーブル化 19-15
 - 説明 19-8
 - IEEE 802.1D との相互運用性
 - 移行プロセスの再起動 18-26
 - 説明 18-8
 - IEEE 802.1s
 - 実装 18-6
 - ポートの役割名の変更 18-7
 - 用語 18-5
 - IST
 - 定義 18-2
 - マスター 18-3
 - リージョン内の動作 18-3
 - MST リージョン
 - CIST 18-3
 - IST 18-2
 - サポートできるスパニング ツリー インスタンス 18-2
 - 設定 18-16
 - 説明 18-2
 - ホップ カウント メカニズム 18-5
 - PortFast
 - イネーブル化 19-11

- 説明 19-2
- PortFast 対応ポートのシャットダウン 19-3
- VLAN と MST インスタンスのマッピング 18-17
- インターフェイス ステート、ブロッキングから
フォワーディング 19-2
- オプション機能のデフォルト設定 19-10
- 概要 18-2
- 拡張システム ID
 - 異常動作 18-18
 - セカンダリ ルート スイッチへの影響 18-19
 - ルート スイッチへの影響 18-18
- 境界ポート
 - 設定時の注意事項 18-16
 - 説明 18-6
- サポートされるインスタンス 17-10
- サポートされるオプション機能 1-6
- ステータスの表示 18-27
- ステータス、表示 18-27
- 設定
 - Hello タイム 18-23
 - MST リージョン 18-16
 - 高速コンバージェンス用リンク タイプ 18-25
 - 最大エージング タイム 18-24
 - 最大ホップ カウント 18-25
 - スイッチ プライオリティ 18-22
 - セカンダリ ルート スイッチ 18-19
 - 転送遅延時間 18-24
 - ネイバー タイプ 18-26
 - パス コスト 18-21
 - ポート プライオリティ 18-20
 - ルート スイッチ 18-18
- 設定時の注意事項 18-16, 19-10
- デフォルト設定 18-15
- モード間の相互運用性と下位互換性 17-10
- モードのイネーブル化 18-16
- ルート ガード
 - イネーブル化 19-16
 - 説明 19-8
- ルート スイッチ
 - 異常動作 18-18
 - 拡張システム ID の影響 18-18
 - 設定 18-18
- ルート スイッチとしての選択防止 19-8
- ループ ガード
 - イネーブル化 19-17
 - 説明 19-9
- Multicast Source Discovery Protocol
 - MSDP を参照
- Multiple HSRP
 - MHSRP を参照
- MVR
 - IGMPv3 23-21
 - アドレス エイリアス 23-21
 - アプリケーション例 23-19
 - インターフェイスの設定 23-23
 - グローバル パラメータの設定 23-22
 - サポート 1-4
 - 設定時の注意事項 23-21
 - 説明 23-18
 - デフォルト設定 23-21
 - マルチキャスト TV アプリケーション 23-19
 - モード 23-22
 - モニタ 23-25
- N
- NAC
 - AAA ダウン ポリシー 1-9
 - RADIUS サーバを使用した IEEE 802.1x 検証 9-40
 - RADIUS サーバを使用した IEEE 802.1x 認証 9-40
 - アクセス不能認証バイパス 1-9, 9-36
 - クリティカル認証 9-14, 9-36
 - レイヤ 2 IEEE 802.1x 検証 1-9, 9-18, 9-40
 - レイヤ 2 IP 検証 1-9
- NameSpace Mapper
 - NSM を参照
- Network Assistant
 - イメージファイルのダウンロード 1-3
 - ウィザード 1-3
 - ガイド モード 1-3
 - 管理オプション 1-3
 - 機能 1-3
 - スイッチのアップグレード B-21
 - 説明 1-5
 - 要件 xliii
- Network Time Protocol
 - NTP を参照

- no switchport コマンド 10-5
 - no 形式 2-5
 - not-so-stubby area
 - NSSA を参照
 - NSM 4-3
 - NSSA、OSPF 35-31
 - NTP
 - アクセスの制限
 - アクセスグループの作成 6-9
 - インターフェイスごとの NTP サービスのディセーブル化 6-11
 - アソシエーション
 - サーバ 6-7
 - 定義 6-3
 - 認証 6-5
 - ピア 6-7
 - ブロードキャストメッセージのイネーブル化 6-8
 - 概要 6-3
 - サポート 1-5
 - 時刻
 - サービス 6-3
 - 同期化 6-3
 - ストラタム 6-3
 - 設定の表示 6-12
 - 送信元 IP アドレス、設定 6-11
 - デバイスの同期化 6-7
 - デフォルト設定 6-5
- O**
- Open Shortest Path First
 - OSPF を参照
 - OSPF
 - IPv6 36-20
 - LSA グループ同期 35-34
 - インターフェイス パラメータ、設定 35-30
 - エリア パラメータ、設定 35-31
 - 仮想リンク 35-33
 - サポート 1-10
 - 設定 35-29
 - 説明 35-27
 - デフォルト設定
 - 設定 35-28
 - メトリック 35-33
 - ルート 35-33
 - モニタ 35-36
 - ルータ ID 35-35
 - ルート サマライズ 35-33
- P**
- PAgP
 - EtherChannel を参照
 - レイヤ 2 プロトコル トンネリング 16-10
 - PBR
 - PBR の高速スイッチング 35-89
 - イネーブル化 35-87
 - 定義 35-85
 - ローカル PBR 35-89
 - PC (パッシブ クラスタ コマンド スイッチ) 5-9
 - PE デバイス 35-68
 - PE/CE ルーティング、設定 35-72
 - Per-VLAN Spanning-Tree plus
 - PVST+ を参照
 - PIM
 - dense (稠密) モード
 - RPF チェック 41-9
 - 概要 41-4
 - ランデブー ポイント (RP)、説明 41-5
 - SPT、使用の延期 41-28
 - 概要 41-4
 - 希薄モード
 - Join メッセージおよび共有ツリー 41-5
 - Prune メッセージ 41-5
 - RPF チェック 41-9
 - 概要 41-5
 - 共有ツリーおよび送信元ツリー、概要 41-27
 - サポート 1-11
 - スタブルーティング
 - イネーブル化 41-15
 - 概要 41-5
 - 表示 41-55
 - デフォルト設定 41-11
 - ネイバーの表示 41-55
 - バージョン
 - v2 の改善点 41-4
 - 相互運用性 41-12
 - 相互運用性に関するトラブルシューティング 41-26
 - モードのイネーブル化 41-14

- ルータクエリメッセージインターバル、変更
41-29
- PIM/DVMRP、スヌーピング方法 23-9
- ping
 - 概要 44-16
 - 実行 44-16
 - 文字出力の説明 44-17
- PoE
 - auto モード 10-9
 - CDP の電力ネゴシエーション拡張機能 10-7
 - IEEE 電力分類レベル 10-8
 - static モード 10-9
 - サポートされるデバイス 10-7
 - サポート対象の標準 10-7
 - シスコ インテリジェント電力管理 10-7
 - 受電装置検出および初期電力割り当て
設定 10-23
 - 低電力モードで動作する高電力デバイス 10-7
 - 電力管理モード 10-9
 - 電力消費 10-24
 - 電力消費を含む CDP、説明 10-7
 - 電力をネゴシエーションする CDP、説明 10-7
 - トラブルシューティング 44-14
 - パワー バジェット 10-24
 - ポートごとにサポートされるワット数 10-7
- Port Aggregation Protocol
 - EtherChannel を参照
- PortFast
 - イネーブル化 19-11
 - サポート 1-6
 - 説明 19-2
 - モード、スパニング ツリー 12-33
- Power over Ethernet
 - PoE を参照
- Protocol-Independent Multicast Protocol
 - PIM を参照
- PVST+
 - IEEE 802.1Q トランクの相互運用性 17-10
 - サポートされるインスタンス 17-10
 - 説明 17-9
- Q
- QoS
 - IP Phone
 - 検出および信頼設定 33-21, 33-39
 - 自動分類およびキューイング 33-21
 - MQC コマンド 33-1
 - QoS ラベル、定義 33-4
 - 暗黙の拒否 33-7
 - 概要 33-2
 - 書き換え 33-20
 - 基本モデル 33-4
 - キュー
 - SRR、説明 33-14
 - WTD、説明 33-13
 - 位置 33-13
 - 出力キューの特性の設定 33-72
 - 入力キューの特性の設定 33-68
 - ハイ プライオリティ (緊急) 33-19, 33-78
 - クラス マップ
 - 設定 33-47
 - 表示 33-80
 - グローバルなイネーブル化 33-35
 - サポート 1-9
 - 自動 QoS
 - VoIP 用のイネーブル化 33-27
 - 実行コンフィギュレーションの影響 33-25
 - 出力キューのデフォルト 33-22
 - 生成コマンドの表示 33-27
 - 生成コマンドのリスト 33-23
 - 設定およびデフォルトの表示 33-30
 - 設定時の注意事項 33-26
 - 設定の表示 33-30
 - 設定例 33-28
 - 説明 33-21
 - ディセーブル化 33-27
 - トラフィックの分類 33-22
 - 入力キューのデフォルト 33-22
 - 出力インターフェイスの帯域幅の制限 33-79
 - 出力キュー
 - DSCP または CoS 値のマッピング 33-75
 - SRR の共有重みの設定 33-77
 - SRR のシェーピング重みの設定 33-76
 - WTD しきい値の設定 33-73
 - WTD、説明 33-19
 - マップの表示 33-76
 - スケジューリング、説明 33-4
 - 説明 33-4
 - バッファ スペースの割り当て 33-73
 - バッファ割り当て方式、説明 33-18
 - フローチャート 33-17

- 信頼状態
 - 信頼のおけるデバイス 33-39
 - 説明 33-5
 - ドメイン内 33-37
 - 別のドメインとの境界 33-41
- 設定
 - DSCP マップ 33-62
 - IP 拡張 ACL 33-45
 - IP 標準 ACL 33-44
 - MAC ACL 33-46
 - 階層型のポリシー マップ 33-53
 - 自動 QoS 33-21
 - 集約ポリサー 33-60
 - 出力キューの特性 33-72
 - 信頼境界機能 33-39
 - デフォルトのポート CoS 値 33-38
 - 透過的な DSCP 33-40
 - ドメイン内のポートの信頼状態 33-37
 - 入力キューの特性 33-68
 - 物理ポートのポリシー マップ 33-49
 - 別のドメインとの境界の DSCP 信頼状態 33-41
- 設定時の注意事項
 - 自動 QoS 33-26
 - 標準 QoS 33-33
- デフォルトの自動設定 33-22
- デフォルトの標準設定 33-31
- 透過的な DSCP 33-40
- 統計情報の表示 33-80
- 入力キュー
 - DSCP または CoS 値のマッピング 33-69
 - SRR の共有重みの設定 33-71
 - WTD しきい値の設定 33-69
 - WTD、説明 33-16
 - マップの表示 33-69
 - スケジューリング、説明 33-4
 - 説明 33-4
 - 帯域幅の割り当て 33-71
 - バッファスペースの割り当て 33-70
 - バッファおよび帯域幅の割り当て、説明 33-16
 - プライオリティ キューの設定 33-71
 - プライオリティ キュー、説明 33-16
 - フローチャート 33-15
- パケットの変更 33-20
- フローチャート
 - 出力ポートのキューイングおよびスケジューリング 33-17
 - 入力ポートのキューイングおよびスケジューリング 33-15
 - 分類 33-6
 - ポリシングおよびマーキング 33-10
- 分類
 - DSCP の信頼状態、説明 33-5
 - IP ACL、説明 33-5, 33-7
 - IP precedence の信頼状態、説明 33-5
 - IP トラフィックのオプション 33-5
 - MAC ACL、説明 33-5, 33-7
 - クラス マップ、説明 33-7
 - 信頼性のある CoS 値、説明 33-5
 - 定義 33-4
 - 転送処理 33-3
 - 透過的な DSCP、説明 33-40
 - 非 IP トラフィックのオプション 33-5
 - フレームおよびパケット 33-3
 - フローチャート 33-6
 - ポリシー マップ、説明 33-7
- ポリサー
 - 数 33-34
 - 設定 33-52, 33-57, 33-60
 - 説明 33-8
 - タイプ 33-9
 - 表示 33-80
- ポリシー マップ
 - SVI の階層 33-53
 - 階層型 33-8
 - 特性 33-49
 - 表示 33-80
 - 物理ポートの非階層型 33-49
- ポリシー、インターフェイスへの結合 33-9
- ポリシング
 - 説明 33-4, 33-8
 - トークン バケット アルゴリズム 33-9
 - マーキング、説明 33-4, 33-8
 - マークダウン アクション 33-52, 33-57
- マッピング テーブル
 - CoS/DSCP 33-63
 - DSCP/CoS 33-66
 - DSCP/DSCP 変換 33-67
 - IP precedence/DSCP 33-64
 - タイプ 33-12
 - 表示 33-80

- ポッシング済み DSCP 33-65
 - QoS の CoS 出力キューしきい値マップ 33-19
 - QoS の CoS 入力キューしきい値マップ 33-16
 - QoS の DSCP 出力キューしきい値マップ 33-19
 - QoS の DSCP 入力キューしきい値マップ 33-16
 - QoS の IP precedence/DSCP マップ 33-64
 - QoS の緊急キュー 33-78
 - QoS のポッシング済み DSCP マップ 33-65
 - QoS 用信頼境界機能 33-39
- R**
- RADIUS**
- AAA サーバグループの定義 8-25
 - アトリビュート
 - ベンダー固有 8-29
 - ベンダー独自仕様 8-31
 - 概要 8-18
 - クラスタ 5-14
 - サーバの識別 8-20
 - サポート 1-9
 - 推奨するネットワーク環境 8-18
 - 設定
 - アカウントिंग 8-28
 - 許可 8-27
 - 通信、グローバル 8-21, 8-29
 - 通信、サーバ単位 8-20, 8-21
 - 認証 8-23
 - 複数の UDP ポート 8-21
 - 設定の表示 8-31
 - デフォルト設定 8-20
 - 動作 8-19
 - 方式リスト、定義 8-20
 - ユーザがアクセスしたサービスのトラッキング 8-28
 - ユーザへのサービスの制限 8-27
- Rapid Per-VLAN Spanning-Tree plus**
- Rapid PVST+ を参照
- Rapid PVST+**
- IEEE 802.1Q トランクの相互運用性 17-10
 - サポートされるインスタンス 17-10
 - 説明 17-9
- Rapid Spanning-Tree Protocol**
- RSTP を参照
- RARP** 35-9
- rcommand コマンド** 5-15
- RCP**
- イメージファイル
 - アップロード B-35
 - 準備、サーバ B-32
 - ダウンロード B-33
 - 古いイメージの削除 B-35
 - コンフィギュレーションファイル
 - アップロード B-19
 - 概要 B-16
 - 準備、サーバ B-17
 - ダウンロード B-18
- Remote Authentication Dial-In User Service**
- RADIUS を参照
- Remote Copy Protocol**
- RCP を参照
- Remote Network Monitoring**
- RMON を参照
- Reverse Address Resolution Protocol**
- RARP を参照
- RFC**
- 1058、RIP 35-21
 - 1157、SNMPv1 31-2
 - 1166、IP アドレス 35-6
 - 1253、OSPF 35-27
 - 1163、BGP 35-45
 - 1267、BGP 35-45
 - 1771、BGP 35-45
 - 1305、NTP 6-3
 - 1587、NSSA 35-27
 - 1757、RMON 29-2
 - 1901、SNMPv2C 31-2
 - 1902 ~ 1907、SNMPv2 31-2
 - 1112、IP マルチキャストおよび IGMP 23-2
 - 2236、IP マルチキャストおよび IGMP 23-2
 - 2273 ~ 2275、SNMPv3 31-2
- RIP**
- IPv6 36-18
 - アドバタイズ 35-21
 - サポート 1-10
 - サマリー アドレス 35-24
 - スプリット ホライズン 35-24
 - 設定 35-22
 - 説明 35-21
 - デフォルト設定 35-21
 - 認証 35-24
 - ホップ カウント 35-21

RMON

- アラームおよびイベントのイネーブル化 29-3
- 概要 29-2
- サポート 1-12
- サポート対象グループ 29-2
- ステータスの表示 29-6
- デフォルト設定 29-3
- 統計情報
 - イーサネット グループの収集 29-5
 - グループ履歴の収集 29-5

route-map コマンド 35-88

Routing Information Protocol

RIP を参照

RSPAN

- VLAN ベース 28-6
- 宛先ポート 28-7
- 概要 1-12, 28-2
- 受信トラフィック 28-5
- ステータスの表示 28-25
- セッション
 - SPAN 送信元トラフィックの特定の VLAN への制限 28-24
 - 作成 28-19
 - 着信トラフィックのイネーブル化 28-22
 - 定義 28-3
 - モニタ対象ポートの指定 28-19
- 設定時の注意事項 28-18
- 送信トラフィック 28-5
- 送信元ポート 28-6
- 他の機能との相互作用 28-8
- 定義 28-3
- デフォルト設定 28-10
- 特性 28-8
- モニタ側ポート 28-7
- モニタ対象ポート 28-6

RSTP

BPDU

- 処理 18-13
- フォーマット 18-12
- IEEE 802.1D との相互運用性
 - 移行プロセスの再起動 18-26
 - 説明 18-8
 - トポロジの変更 18-13

MSTP も参照

- アクティブ トポロジ 18-9
- 概要 18-9

高速コンバージェンス

- エッジポートおよび PortFast 18-10
- 説明 18-10
- ポイントツーポイント リンク 18-10, 18-25
- ルートポート 18-10
- 指定スイッチ、定義 18-9
- 指定ポート、定義 18-9
- 提案 / 合意ハンドシェイク プロセス 18-10
- ポートの役割
 - 説明 18-9
 - 同期化 18-11
- ルートポート、定義 18-9

S

SC (スタンバイ クラスタ コマンド スイッチ) 5-9

SDM

- 説明 7-1
- テンプレート
 - 数 7-2
 - 設定 7-6

SDM テンプレート

- 設定 7-5
- 設定時の注意事項 7-5
- タイプ 7-2
- デュアル IPv4/IPv6 7-3

Secure Shell

SSH を参照

Secure Socket Layer

SSL も参照

set-request 動作 31-5

SFP

- ステータスのモニタリング 10-31, 44-15
- ステータス、表示 44-15
- セキュリティおよび ID 44-15

Shaped Round Robin

SRR を参照

- show access-lists hardware counters コマンド 32-23
- show cdp traffic コマンド 25-6
- show cluster members コマンド 5-15
- show configuration コマンド 10-26
- show forward コマンド 44-25
- show interfaces コマンド 10-20, 10-26
- show l2protocol コマンド 16-15, 16-17, 16-18
- show lldp traffic コマンド 26-8
- show platform forward コマンド 44-25

- show running-config コマンド
 - ACL の表示 32-21, 32-22, 32-34, 32-36
 - インターフェイスの記述の追加 10-26
- show および more コマンド出力のフィルタリング 2-11
- Simple Network Management Protocol
 - SNMP を参照
- SmartPort マクロ
 - Web サイト 11-2
 - グローバルパラメータ値の適用 11-5, 11-7
 - 作成 11-4
 - シスコのデフォルトマクロ 11-6
 - 設定時の注意事項 11-3
 - 定義 11-2
 - デフォルト設定 11-3
 - トレース 11-3
 - パラメータ値の適用 11-5, 11-7
 - 表示 11-8
 - マクロの適用 11-5
- SNAP 25-2
- SNMP
 - ifIndex 値 31-6
 - MIB
 - 位置 A-3
 - サポート A-1
 - MIB 変数のアクセス 31-5
 - NMS に送信される Syslog メッセージの制限 30-10
 - TFTP サーバによるアクセスの制限 31-16
 - エージェント
 - 説明 31-4
 - ディセーブル化 31-8
 - エンジン ID 31-8
 - 概要 31-2, 31-5
 - クラスタ 5-13
 - クラスタの管理 5-16
 - グループ 31-7, 31-10
 - コミュニティストリング
 - 概要 31-4
 - クラスタスイッチ 31-4
 - 設定 31-8
 - サポート対象のバージョン 31-2
 - システムコンタクトおよびロケーション 31-15
 - 情報
 - traps キーワード 31-12
 - イネーブル化 31-15
 - 説明 31-5
 - ディセーブル化 31-15
 - トラップとの相違 31-6
 - ステータス、表示 31-18
 - セキュリティレベル 31-3
 - 設定例 31-16
 - 帯域内管理 1-6
 - 通知 31-5
 - デフォルト設定 31-7
 - トラップ
 - MAC アドレス通知のイネーブル化 6-23
 - イネーブル化 31-12
 - 概要 31-2, 31-5
 - 情報との相違 31-6
 - 説明 31-4, 31-5
 - タイプ 31-12
 - ディセーブル化 31-15
 - トラップマネージャ、設定 31-13
 - 認証レベル 31-11
 - ホスト 31-7
 - マネージャ機能 1-5, 31-4
 - ユーザ 31-7, 31-10
- SNMPv1 31-3
- SNMPv2C 31-3
- SNMPv3 31-3
- SPAN
 - VLAN ベース 28-6
 - 宛先ポート 28-7
 - 概要 1-12, 28-2
 - 受信トラフィック 28-5
 - ステータスの表示 28-25
 - セッション
 - SPAN 送信元トラフィックの特定の VLAN への制限 28-16
 - 宛先ポートの削除 28-13
 - 作成 28-11
 - 着信トラフィックのイネーブル化 28-14
 - 定義 28-3
 - 入力転送の設定 28-15, 28-23
 - モニタ対象ポートの指定 28-11
 - 設定時の注意事項 28-10
 - 送信トラフィック 28-5
 - 送信元ポート 28-6
 - 他の機能との相互作用 28-8
 - デフォルト設定 28-10
 - ポート、制約 24-12

- モニタ側ポート 28-7
- モニタ対象ポート 28-6
- SPAN トラフィック 28-5
- SRR
 - 共有モード 33-14
 - サポート 1-10
 - シェーピングモード 33-14
 - 設定
 - 出力キューでのシェーピング重み 33-76
 - 出力キューの共有重み 33-77
 - 入力キューの共有重み 33-71
 - 説明 33-14
- SSH
 - 暗号化ソフトウェア イメージ 8-38
 - 暗号化方式 8-38
 - 設定 8-39
 - 説明 1-6, 8-38
 - ユーザ認証方式、サポートされている 8-38
- SSL
 - 暗号化ソフトウェア イメージ 8-42
 - セキュア HTTP クライアントの設定 8-47
 - セキュア HTTP サーバの設定 8-46
 - 設定時の注意事項 8-44
 - 説明 8-42
 - モニタ 8-48
- SSL による HTTP
 - HTTPS を参照
- standby ip コマンド 39-6
- STP
 - BackboneFast
 - イネーブル化 19-15
 - 説明 19-6
 - ディセーブル化 19-15
 - BPDU ガード
 - イネーブル化 19-12
 - 説明 19-3
 - ディセーブル化 19-12
 - BPDU フィルタリング
 - イネーブル化 19-13
 - 説明 19-3
 - ディセーブル化 19-14
 - BPDU メッセージ交換 17-3
 - EtherChannel ガード
 - イネーブル化 19-15
 - 説明 19-8
 - ディセーブル化 19-15
 - IEEE 802.1t および VLAN ID 17-4
 - IEEE 802.1D およびブリッジ ID 17-4
 - IEEE 802.1D およびマルチキャスト アドレス 17-8
 - IEEE 802.1Q トランクに関する制限事項 17-10
 - PortFast
 - イネーブル化 19-11
 - 説明 19-2
 - PortFast 対応ポートのシャットダウン 19-3
 - UplinkFast
 - イネーブル化 19-14
 - 説明 19-4
 - VLAN ブリッジ 17-11
 - インターフェイス ステート
 - 概要 17-5
 - ディセーブル 17-7
 - フォワーディング 17-6, 17-7
 - ブロッキング 17-6
 - ラーニング 17-6
 - リスニング 17-6
 - インターフェイス ステート、ブロッキングから
フォワーディング 19-2
 - オプション機能のデフォルト設定 19-10
 - 下位 BPDU 17-4
 - 概要 17-2
 - カウンタ、クリア 17-23
 - 拡張システム ID
 - 異常動作 17-16
 - 概要 17-4
 - セカンダリ ルート スイッチへの影響 17-17
 - ルート スイッチへの影響 17-15
 - 間接リンク障害の検出 19-6
 - キープアライブ メッセージ 17-3
 - サポートされている機能 1-6
 - サポートされるインスタンス 17-10
 - サポートされるオプション機能 1-6
 - サポートされるプロトコル 17-9
 - サポートされるモード 17-9
 - 指定スイッチ、定義 17-4
 - 指定ポート、定義 17-4
 - 冗長接続 17-8
 - ステータスの表示 17-23
 - ステータス、表示 17-23
 - 設定
 - Hello タイム 17-21
 - 最大エージング タイム 17-22

- スイッチプライオリティ 17-20
 - スパニング ツリー モード 17-14
 - セカンダリ ルート スイッチ 17-17
 - 転送遅延時間 17-22
 - 転送保留カウント 17-23
 - パス コスト 17-19
 - ポート プライオリティ 17-18
 - ルート スイッチ 17-15
 - 設定時の注意事項 17-13, 19-10
 - タイマー、説明 17-21
 - ディセーブル化 17-15
 - デフォルト設定 17-12
 - パス コスト 12-29, 12-30
 - ポート プライオリティ 12-28
 - マルチキャスト アドレス、作用 17-8
 - モード間の相互運用性と下位互換性 17-10
 - 優位 BPDU 17-3
 - ルート ガード
 - イネーブル化 19-16
 - 説明 19-8
 - ルート スイッチ
 - 異常動作 17-16
 - 拡張システム ID の影響 17-4, 17-15
 - 設定 17-15
 - 選定 17-4
 - ルート スイッチとしての選択防止 19-8
 - ルート ポート選択の高速化 19-4
 - ルート ポート、定義 17-4
 - ループ ガード
 - イネーブル化 19-17
 - 説明 19-9
 - レイヤ 2 プロトコル トネリング 16-9
 - ロード シェアリング
 - 概要 12-27
 - パス コストの使用 12-29
 - ポート プライオリティの使用 12-28
 - SunNet Manager 1-5
 - SVI
 - IP ユニキャスト ルーティング 35-4
 - VLAN 間のルーティング 12-3
 - VLAN の接続 10-10
 - 定義 10-5
 - ルータ ACL 32-5
 - Switch Database Management
 - SDM を参照
 - Switched Port Analyzer
 - SPAN を参照
 - switchport block multicast コマンド 24-8
 - switchport block unicast コマンド 24-8
 - switchport mode dot1q-tunnel コマンド 16-8
 - switchport protected コマンド 24-7
 - switchport コマンド 10-16
 - Syslog
 - システム メッセージ ロギングを参照
- ## T
- TACACS+
 - アカウントिंग、定義 8-11
 - 概要 8-10
 - 許可、定義 8-11
 - クラスタ 5-14
 - サーバの識別 8-13
 - サポート 1-9
 - 設定
 - アカウントिंग 8-17
 - 許可 8-16
 - 認証鍵 8-13
 - ログイン認証 8-14
 - 設定の表示 8-17
 - デフォルト設定 8-13
 - 動作 8-12
 - 認証、定義 8-11
 - ユーザがアクセスしたサービスのトラッキング 8-17
 - ユーザへのサービスの制限 8-16
 - tar ファイル
 - イメージ ファイル形式 B-22
 - 作成 B-6
 - 抽出 B-7
 - 内容表示 B-6
 - TDR 1-12
 - Telnet
 - 管理インターフェイスのアクセス 2-12
 - 接続数 1-6
 - パスワードの設定 8-6
 - Terminal Access Controller Access Control System Plus
 - TACACS+ を参照
 - TFTP
 - イメージ ファイル
 - アップロード B-26

- 削除 B-26
 - 準備、サーバ B-23
 - ダウンロード B-24
 - コンフィギュレーションファイル
 - アップロード B-12
 - 準備、サーバ B-11
 - ダウンロード B-12
 - サーバによるアクセスの制限 31-16
 - 自動設定の場合 3-6
 - ベース ディレクトリのコンフィギュレーションファイル 3-6
 - TFTP サーバ 1-5
 - Time Domain Reflector
 - TDR を参照
 - time-range コマンド 32-18
 - TLV
 - LLDP 26-2
 - LLDP-MED 26-2
 - 定義 26-2
 - ToS 1-9
 - traceroute コマンド 44-20
 - IP traceroute も参照
 - traceroute、レイヤ 2
 - 1 ポートに複数のデバイス 44-19
 - ARP 44-18
 - CDP 44-18
 - IP アドレスおよびサブネット 44-18
 - MAC アドレスと VLAN 44-18
 - 使用時の注意事項 44-18
 - 説明 44-18
 - ブロードキャスト トラフィック 44-18
 - マルチキャスト トラフィック 44-18
 - ユニキャスト トラフィック 44-18
- U**
- UDLD
 - イネーブル化
 - インターフェイス単位 27-7
 - グローバル 27-6
 - インターフェイスのリセット 27-7
 - エコーによる検出メカニズム 27-3
 - 概要 27-2
 - サポート 1-6
 - ステータス、表示 27-8
 - 設定時の注意事項 27-5
 - ディセーブル化
 - インターフェイス単位 27-7
 - グローバル 27-6
 - 光ファイバインターフェイス 27-6
 - デフォルト設定 27-5
 - ネイバー データベース 27-3
 - リンク検出メカニズム 27-2
 - レイヤ 2 プロトコル トンネリング 16-12
 - UDLD によってディセーブルにされたインターフェイスのリセット 27-7
 - UDP、設定 35-16
 - UniDirectional Link Detection プロトコル
 - UDLD を参照
 - UNIX Syslog サーバ
 - サポートされているファシリティ 30-14
 - デーモンの設定 30-12
 - メッセージ ロギングの設定 30-13
 - UplinkFast
 - イネーブル化 19-14
 - サポート 1-6
 - 説明 19-4
 - ディセーブル化 19-15
 - User Datagram Protocol
 - UDP を参照
- V**
- VLAN
 - config-vlan モードでの作成 12-10
 - ID 1006 ~ 4094 の設定 12-14
 - RSPAN による送信元トラフィックの制限 28-24
 - SPAN による送信元トラフィックの制限 28-16
 - STP および IEEE 802.1Q トランク 17-10
 - SVI による接続 10-10
 - VLAN コンフィギュレーション モードでの作成 12-11
 - VLAN データベースへの追加 12-10
 - VLAN ブリッジ STP 17-11, 43-2
 - VTP モード 13-3
 - 拡張範囲 12-1, 12-14
 - 機能 1-7
 - サービスプロバイダー ネットワーク内のカスタマー番号 16-3
 - 削除 12-12
 - サポート 12-3
 - サポートされる数 1-7

- 図 12-2
- スタティック アクセス ポート 12-13
- スパンニング ツリー インスタンス 12-3, 12-8, 12-15
- 設定 12-1
- 設定オプション 12-8
- 設定時の注意事項、拡張範囲 VLAN 12-14
- 設定時の注意事項、標準範囲 VLAN 12-7
- 説明 10-2, 12-2
- 相互間トラフィック 12-3
- ダイナミック アドレスのエージング タイム 17-9
- 追加 12-10
- デフォルト設定 12-9
- トークンリング 12-7
- トランクでの許可 VLAN 12-24
- 内部 12-15
- ネイティブ、設定 12-27
- パラメータ 12-6
- 表示 12-18
- 標準範囲 12-1, 12-6
- 変更 12-10
- ポート メンバシップ モード 12-4
- マルチキャスト 23-18
- VLAN 1 最小化 12-25
- VLAN 1、トランク ポートでのディセーブル化 12-25
- VLAN ACL
 - VLAN マップを参照
 - vlan database コマンド 12-8
 - vlan dot1q tag native コマンド 16-6
- VLAN ID、検出 6-28
- VLAN Query Protocol
 - VQP を参照
- VLAN Trunking Protocol
 - VTP を参照
- VLAN 管理ドメイン 13-2
- VLAN 間ルーティング 1-10, 35-2
- vlan グローバル コンフィギュレーション コマンド 12-8
- VLAN コンフィギュレーション モード 2-3, 12-8
- VLAN 制限
 - IEEE 802.1x の利用 9-13
 - 設定 9-34
 - 説明 9-13
- VLAN 設定
 - 起動時 12-9
 - 保存 12-9
- VLAN データベース
 - VLAN 設定、保存 12-9
 - VTP 13-1
 - 格納された VLAN 12-6
 - スタートアップ コンフィギュレーション ファイル 12-9
- VLAN トランク 12-19
- VLAN の削除 12-12
- VLAN フィルタリング、SPAN 28-7
- VLAN マップ
 - ACL および VLAN マップの例 32-34
 - 一般的な使用法 32-36
 - サーバへのアクセス拒否 32-38
 - 削除 32-36
 - 作成 32-33
 - サポート 1-8
 - 設定 32-32
 - 設定時の注意事項 32-32
 - 定義 32-3
 - 適用 32-36
 - パケットの拒否および許可 32-34
 - 表示 32-43
 - ワイヤリング クローゼットの設定例 32-37
- VLAN マップ エントリ、順序 32-33
- VLAN マネジメント ポリシー サーバ
 - VMPS を参照
- VLAN メンバシップ
 - 確認 12-35
 - モード 12-4
- VLAN 割り当て応答、VMPS 12-31
- vlan.dat ファイル 12-6
- VMPS
 - MAC アドレスと VLAN のマッピング 12-31
 - 管理 12-36
 - サーバアドレスの入力 12-33
 - 再確認インターバル、変更 12-35
 - 再試行回数、変更 12-35
 - 設定時の注意事項 12-33
 - 設定例 12-37
 - 説明 12-31
 - ダイナミック ポート メンバシップ
 - 再確認 12-35
 - 説明 12-32
 - トラブルシューティング 12-36
 - デフォルト設定 12-32

- メンバシップの再確認 12-35
- モニタ 12-36
- Voice over IP 14-2
- VPN
 - サービス プロバイダーのネットワーク内 35-67
 - フォワーディング 35-69
 - ルーティングの設定 35-71
 - ルート 35-68
- VQP 1-7, 12-31
- VRF
 - 定義 35-69
 - テーブル 35-67
- VRF テーブル
 - VRF を参照
- VTP
 - アドバタイズ 12-22, 13-4
 - 拡張範囲 VLAN 13-2
 - クライアント モード、設定 13-12
 - コンフィギュレーション リビジョン番号
 - 注意事項 13-16
 - リセット 13-17
 - コンフィギュレーション モード オプション 13-8
 - サーバ モード、設定 13-11
 - サポート 1-7
 - 使用方法 13-2
 - 整合性検査 13-5
 - 設定
 - VLAN コンフィギュレーション モード 13-9
 - クライアント モード 13-12
 - グローバル コンフィギュレーション モード 13-8
 - サーバ モード 13-11
 - 注意事項 13-9
 - 透過モード 13-13
 - 特権 EXEC モード 13-8
 - 保存 13-9
 - 要件 13-10
 - 設定要件 13-10
 - 説明 13-2
 - ディセーブル化 13-13
 - デフォルト設定 13-8
 - 透過 モード、設定 13-13
 - 統計情報 13-17
 - トークンリング サポート 13-5
 - ドメイン 13-2
 - ドメインへのクライアントの追加 13-16
 - ドメイン名 13-9
 - バージョン 1 13-5
 - バージョン 2
 - イネーブル化 13-14
 - 概要 13-5
 - 設定時の注意事項 13-10
 - ディセーブル化 13-15
 - バージョン、注意事項 13-10
 - パスワード 13-10
 - 標準範囲 VLAN 13-2
 - ブルーニング
 - イネーブル化 13-15
 - 概要 13-5
 - サポート 1-7
 - ディセーブル化 13-15
 - 例 13-6
 - ブルーニング適格リスト、変更 12-26
 - モード
 - クライアント 13-4, 13-12
 - サーバ 13-3, 13-11
 - 透過 13-4, 13-13
 - 変更 13-3
 - モニタ 13-17
 - レイヤ 2 プロトコル トンネリング 16-9
 - VTP バージョン 2 における整合性検査 13-5
- W
- WCCP
 - MD5 セキュリティ 40-3
 - イネーブル化 40-7
 - クライアントから受信したトラフィックのリダイレクト 40-7
 - サポートされない WCCPv2 機能 40-5
 - サポートされない機能 40-5
 - 設定時の注意事項 40-6
 - 説明 40-2
 - ダイナミック サービス グループ 40-4
 - デフォルト設定 40-6
 - 転送方法 40-3
 - 認証 40-3
 - ネゴシエーション 40-3
 - パケット リダイレクション 40-4
 - パケットリターン方法 40-3

- パスワードの設定 40-7
 - 表示 40-11
 - メッセージ交換 40-2
 - モニタリングおよびメンテナンス 40-11
 - レイヤ2ヘッダーの書き換え 40-3
 - Web Cache Communication Protocol
 - WCCP を参照
 - Web 認証
 - IEEE 802.1x のフォールバック 9-42
 - 設定 9-41?9-43
 - 説明 1-7, 9-20
 - Weighted Tail Drop
 - WTD を参照
 - WTD
 - サポート 1-10
 - の設定
 - 出力キューセット 33-73
 - 入力キュー 33-69
 - 説明 33-13
- X
- XMODEM プロトコル 44-2
- あ
- アカウントティング
 - IEEE 802.1x 9-9, 9-32
 - RADIUS 8-28
 - TACACS+ 8-11, 8-17
 - アクセス グループ
 - インターフェイスへの IPv4 ACL の適用 32-22
 - レイヤ2 32-22
 - レイヤ3 32-22
 - アクセス コントロール エントリ
 - ACE を参照
 - アクセス テンプレート 7-2
 - アクセス ポート
 - スイッチ クラスタ 5-8
 - 定義 10-3
 - レイヤ2 プロトコル トンネリング 16-12
 - アクセス リスト
 - ACL を参照
 - アクセス拒否応答、VMPS 12-31
 - アクセスの制限
 - NTP サービス 6-9
 - RADIUS 8-18
 - TACACS+ 8-10
 - 概要 8-1
 - パスワードおよび権限レベル 8-2
 - アクセス不能認証バイパス 9-14
 - アクセス方法
 - クラスタ、スイッチ 5-12
 - コマンドスイッチ 5-10
 - スイッチ クラスタ 5-12
 - メンバー スイッチ 5-12
 - アクティブ リンク 20-2
 - アクティブ ルータ 39-2
 - アップグレード情報 xliii
 - アップロード
 - イメージ ファイル
 - FTP の使用 B-30
 - RCP の使用 B-35
 - TFTP の使用 B-26
 - 準備 B-23, B-27, B-32
 - 目的 B-21
 - コンフィギュレーション ファイル
 - FTP の使用 B-15
 - RCP の使用 B-19
 - TFTP の使用 B-12
 - 準備 B-11, B-14, B-17
 - 目的 B-9
 - 宛先 IP アドレスベース転送、EtherChannel 34-7
 - 宛先 MAC アドレス転送、EtherChannel 34-7
 - 宛先アドレス
 - IPv4 ACL 内 32-13
 - IPv6 ACL 内 38-6
 - アドバタイズ
 - CDP 25-2
 - LLDP 26-2
 - RIP 35-21
 - VTP 12-22, 13-3, 13-4
 - アトリビュート、RADIUS
 - ベンダー固有 8-29
 - ベンダー独自仕様 8-31
 - アドレス
 - MAC アドレス テーブルの表示 6-28
 - MAC、検出 6-28
 - スタティック
 - 追加および削除 6-25
 - 定義 6-21

- ダイナミック
 - エージング タイムの短縮 17-9
 - エージング タイムの変更 6-22
 - 削除 6-23
 - 定義 6-21
 - デフォルトのエージング タイム 17-9
 - ラーニング 6-21
 - マルチキャスト
 - STP アドレス管理 17-8
 - グループアドレスの範囲 41-3
 - アドレス エイリアス 23-2
 - アドレス解決 6-28, 35-8
 - アプリケーション エンジン、トラフィックのリダイレクト先 40-1
 - アベイラビリティ、機能 1-6
 - アラーム、RMON 29-3
 - 暗号化ソフトウェア イメージ
 - Kerberos 8-32
 - SSH 8-38
 - SSL 8-42
 - 安全なリモート接続 8-38
- い
- イーサネット VLAN
 - 追加 12-10
 - デフォルトおよび範囲 12-9
 - 変更 12-10
 - 一時的な自己署名証明書 8-43
 - イネーブル シークレット パスワード 8-3
 - イネーブル パスワード 8-3
 - イベント、RMON 29-3
 - インターネット グループ管理プロトコル
 - IGMP を参照
 - インターフェイス
 - Auto-MDIX、設定 10-22
 - カウンタ、クリア 10-32
 - 管理 1-5
 - 記述 10-26
 - 記述、追加 10-26
 - 再起動 10-32
 - サポート 10-11
 - シャットダウン 10-32
 - 情報の表示 10-31
 - ステータス 10-31
 - 設定
 - IPv4 と IPv6 36-13
 - 手順 10-11
 - 設定時の注意事項
 - 速度およびデュープレックス 10-19
 - 説明 10-26
 - 速度およびデュープレックス、設定 10-20
 - タイプ 10-2
 - デフォルト設定 10-16
 - 範囲 10-12
 - 番号 10-11
 - 物理的な識別 10-11
 - フロー制御 10-21
 - モニタ 10-31
 - レンジ マクロ 10-14
 - インターフェイス コンフィギュレーション モード 2-3
 - インターフェイス タイプ 10-11
 - インターフェイス ラインプロトコル ステート トラッキング 39-13
 - インターフェイスでの shutdown コマンド 10-32
 - インターフェイスのクリア 10-32
- う
- ウィザード 1-3
- え
- 永続的な自己署名証明書 8-43
 - エージング タイム
 - MAC アドレス テーブル 6-22
 - 最大
 - MSTP 用 18-24, 18-25
 - STP 17-22, 17-23
 - 短縮
 - MSTP 用 18-24
 - STP 17-9, 17-22
 - エージング タイム、短縮 17-9
 - エラー メッセージ、コマンド入力時 2-5
- お
- オブジェクト トラッキング、HSRP 39-19
 - オプション、管理 1-5

音声 VLAN

- Cisco 7960 IP Phone、ポート接続 14-2
 - IP Phone の音声トラフィック、説明 14-3
 - IP Phone のデータトラフィック、説明 14-3
 - IP Phone への接続 14-5
 - 音声トラフィック用のポート設定
 - 802.1p プライオリティタグ付きフレーム 14-6
 - 802.1Q フレーム 14-6
 - 設定時の注意事項 14-4
 - 説明 14-2
 - データトラフィック用の IP Phone の設定
 - 着信フレームの CoS の変更 14-7
 - 着信フレームの CoS プライオリティを信頼 14-7
 - デフォルト設定 14-4
 - 表示 14-8
- オンライン診断
- 概要 45-1
 - テストの実行 45-4

か

- 階層型のポリシー マップ 33-8
 - 設定 33-53
 - 設定時の注意事項 33-34
 - 説明 33-11
- ガイドモード 1-3
- 外部 VLAN
 - 音声 VLAN を参照
- 回復手順 44-1
- 外部ネイバー、BGP 35-49
- カウンタのクリア、インターフェイス 10-32
- 拡張 IP サービス イメージ 36-1
- 拡張オブジェクト トラッキング
 - HSRP 39-19
 - IP ルーティング ステート 39-13
 - コマンド 39-13
 - 定義 39-13
 - トラッキング リスト 39-15
 - ラインプロトコル ステート 39-13
- 拡張システム ID
 - MSTP 18-18
 - STP 17-4, 17-15
- 拡張範囲 VLAN
 - 作成 12-15

- 設定 12-14
- 設定時の注意事項 12-14
- 定義 12-1
- 内部 VLAN ID による作成 12-17

仮想 IP アドレス

- クラスター スタンプバイ グループ 5-10
- コマンド スイッチ 5-10

仮想ルータ 39-2, 39-3

- 環境変数、機能 3-16
- 間接リンク障害の検出、STP 19-6

管理 VLAN

- 異なる管理 VLAN からの検出 5-7
- スイッチ クラスターの考慮事項 5-7

管理アクセス

- 帯域外コンソール ポート接続 1-6
- 帯域内
 - CLI セッション 1-6
 - SNMP 1-6
 - デバイス マネージャ 1-6
 - ブラウザ セッション 1-6

管理オプション

- CLI 2-1
- CNS 4-2
- Network Assistant 1-3
 - 概要 1-5
 - クラスター 1-3
- 管理距離
 - OSPF 35-33
 - 定義 35-91
 - ルーティング プロトコルのデフォルト 35-80
- 管理の簡易性に関する機能 1-5
- 関連資料 xliii

き

- キープアライブ メッセージ 17-3
- 起動
 - 起動プロセス 3-2
 - 手動 3-14
 - 特定のイメージ 3-15
 - ブート ロード、機能 3-2
- 機能、互換 24-12
- 逆アドレス解決 35-8
- 許可
 - RADIUS 8-27
 - TACACS+ 8-11, 8-16

- 許可 VLAN リスト 12-24
- 許可ポート、IEEE 802.1x 9-7
- 近接ディスカバリおよび回復、EIGRP 35-37
- 近接ディスカバリ、IPv6 36-4

- く
- クエリー送信要求、IGMP 23-13
- クエリー、IGMP 23-4
- クライアントプロセス、トラッキング 39-13
- クライアントモード、VTP 13-4
- クラス マップ、QoS
 - 設定 33-47
 - 説明 33-7
 - 表示 33-80
- クラスタ スタンバイ グループ
 - HSRP グループ 39-11
 - HSRP も参照
 - 仮想 IP アドレス 5-10
 - 考慮事項 5-10
 - 自動復旧 5-12
 - 定義 5-2
 - 要件 5-3
- クラスタおよび HSRP グループのバインド 39-11
- クラスタ要件 xliii
- クラスタ、スイッチ
 - LRE プロファイルの考慮事項 5-14
 - アクセス方法 5-12
 - 管理
 - CLI の使用 5-15
 - SNMP の使用 5-16
 - 機能 1-3
 - 候補スイッチ、コマンドスイッチ、クラスタ スタンバイ グループ、メンバー スイッチ、およびスタンバイ コマンドスイッチも参照
 - 互換 5-4
 - 自動検出 5-4
 - 自動復旧 5-9
 - 説明 5-1
 - プランニング 5-4
 - プランニングの考慮事項
 - CLI 5-15
 - IP アドレス 5-12
 - LRE プロファイル 5-14
 - RADIUS 5-14
 - SNMP 5-13, 5-16
 - TACACS+ 5-14
 - 自動検出 5-4
 - 自動復旧 5-9
 - パスワード 5-13
 - ホスト名 5-13
- クラスレス ルーティング 35-7
- クリティカル認証、IEEE 802.1x 9-36
- グローバル Leave、IGMP 23-13
- グローバル コンフィギュレーション モード 2-2
- クロック
 - システム クロックを参照

- け
- ケーブル、単一方向リンクのモニタ 27-2
- ゲスト VLAN と IEEE 802.1x 9-12
- 権限レベル
 - 回線に対するデフォルトの変更 8-9
 - 概要 8-2, 8-7
 - コマンド スイッチ 5-15
 - コマンドの設定 8-8
 - 終了 8-9
 - メンバー スイッチとの対応 5-15
 - ログイン 8-9
- 検出、クラスタ
 - 自動検出を参照

- こ
- 構成例、ネットワーク 1-16
- 高速コンバージェンス 18-10
- 候補スイッチ
 - コマンド スイッチ、クラスタ スタンバイ グループ、およびメンバー スイッチも参照
 - 自動検出 5-4
 - 定義 5-3
 - 要件 5-3
- 互換、機能 24-12
- コマンド
 - no および default 2-5
 - 省略 2-4
- コマンド スイッチ
 - アクセス方法 5-10
 - アクティブ (AC) 5-9
 - 回復
 - コマンド スイッチの障害 5-9, 44-9

- メンバー スイッチとの接続 44-13
 - 交換
 - クラスタ メンバー 44-9
 - 他のスイッチ 44-11
 - 候補スイッチ、コマンドスイッチ、クラスタ スタ
ンバイ グループ、およびメンバー スイ
ッチも参照
 - 冗長 5-9
 - スタンバイ (SC) 5-9
 - 設定の矛盾 44-13
 - 定義 5-2
 - パスワード権限レベル 5-15
 - パッシブ (PC) 5-9
 - プライオリティ 5-9
 - 要件 5-3
 - コマンドモード 2-2
 - コマンドの権限レベルの設定 8-8
 - コマンドの省略 2-4
 - コマンドライン インターフェイス
CLI を参照
 - コミュニティ VLAN 15-2, 15-3
 - コミュニティ ストリング
 - SNMP 5-13
 - 概要 31-4
 - クラスタ 5-13
 - クラスタ スイッチ 31-4
 - 設定 5-13, 31-8
 - コミュニティ ポート 15-3
 - コミュニティ リスト、BGP 35-59
 - 混合ポート
 - 設定 15-13
 - 定義 15-3
 - コンソール ポート、接続 2-12
 - コンテンツ ルーティング テクノロジー
WCCP を参照
 - コンフィギュレーション ファイル
 - DHCP による入手 3-8
 - TFTP サーバ アクセスの制限 31-16
 - アップロード
 - FTP の使用 B-15
 - RCP の使用 B-19
 - TFTP の使用 B-12
 - 準備 B-11, B-14, B-17
 - 目的 B-9
 - 格納されたコンフィギュレーションの削除
B-20
 - コピー時の無効な組み合わせ B-5
 - 作成および使用上の注意事項 B-9
 - システム コンタクトおよびロケーション
31-15
 - スタートアップ コンフィギュレーションの消去
B-20
 - 説明 B-9
 - タイプおよび場所 B-10
 - ダウンロード
 - FTP の使用 B-14
 - RCP の使用 B-18
 - TFTP の使用 B-12
 - 自動 3-13
 - 準備 B-11, B-14, B-17
 - 目的 B-9
 - テキスト エディタによる作成 B-10
 - デフォルトの名前 3-13
 - パスワード回復をディセーブルにする場合の考慮
事項 8-5
 - ファイル名の指定 3-13
 - コンフィギュレーション ロギング 2-6
- さ
- サーバ モード、VTP 13-3
 - サービス クラス
 - CoS を参照
 - サービス タイプ
 - ToS を参照
 - サービス プロバイダー ネットワーク、MSTP および
RSTP 18-1
 - サービス品質
 - QoS を参照
 - サービスプロバイダー ネットワーク
 - EtherChannel のレイヤ 2 プロトコル トンネリング
16-10
 - IEEE 802.1Q トンネリング 16-2
 - カスタマー VLAN 16-3
 - サービスプロバイダー ネットワークをまたがるレ
イヤ 2 プロトコル 16-9
 - 再確認インターバル、VMPS、変更 12-35
 - 再試行回数、VMPS、変更 12-35
 - 最大エージング タイム
 - MSTP 18-24
 - STP 17-22
 - 最大ホップ カウント、MSTP 18-25
 - サブドメイン、プライベート VLAN 15-2
 - サブネット ゼロ 35-6

- サブネット マスク 35-6
- し
- 時間範囲、ACL 32-18
- しきい値、トラフィック レベル 24-2
- 時刻
 - NTP およびシステム クロックを参照
 - シスコ インテリジェント電力管理 10-7
 - システム MTU および IEEE 802.1Q トンネリング 16-6
 - システム クロック
 - NTP も参照
 - 概要 6-2
 - 設定
 - 手動 6-12
 - タイムゾーン 6-13
 - 夏時間 6-14
 - 日時を表示 6-13
 - システム プロンプト、デフォルト設定 6-16
 - システム メッセージ ロギング
 - level キーワード、説明 30-10
 - Syslog 機能 1-12
 - UNIX Syslog サーバ
 - サポートされているファシリティ 30-14
 - デーモンの設定 30-12
 - ロギング ファシリティの設定 30-13
 - イネーブル化 30-5
 - エラー メッセージの重大度の定義 30-9
 - 概要 30-2
 - シーケンス番号、イネーブル化およびディセーブル化 30-8
 - 設定の表示 30-14
 - タイムスタンプ、イネーブル化およびディセーブル化 30-8
 - ディセーブル化 30-4
 - デフォルト設定 30-4
 - 表示宛先デバイスの設定 30-5
 - ファシリティ キーワード、説明 30-14
 - メッセージフォーマット 30-3
 - メッセージの制限 30-10
 - ログメッセージの同期化 30-7
 - システム リソースの最適化 7-2
 - システム名
 - DNS も参照
 - 手動設定 6-16
 - デフォルト設定 6-16
 - 実行コンフィギュレーション、保存 3-12
 - 自動 QoS
 - QoS を参照
 - 自動 RP、検出 41-6
 - 自動検出
 - CDP も参照
 - 考慮事項
 - CDP 非対応デバイス 5-5
 - 新しいスイッチ 5-8
 - 管理 VLAN 5-7
 - クラスタ非対応デバイス 5-5
 - 異なる VLAN 5-6
 - 接続性 5-4
 - 非候補デバイスより先 5-7
 - ルーテッドポート 5-8
 - スイッチ クラスタ 5-4
 - 自動検知、ポート速度 1-4
 - 自動設定 3-4
 - 自動ネゴシエーション
 - インターフェイス設定時の注意事項 10-19
 - デュプレックス モード 1-4
 - 不一致 44-14
 - 自動復旧、クラスタ 5-9
 - HSRP も参照
 - 重大度、システム メッセージの定義 30-9
 - 集約アドレス、BGP 35-62
 - 集約可能なグローバルユニキャストアドレス 36-3
 - 集約ポート
 - EtherChannel を参照
 - 集約ポリサー 33-60
 - 集約ポリシング 1-10
 - 照合
 - IPv6 ACL 38-3
 - 照合、IPv4 ACL 32-8
 - 冗長性
 - EtherChannel 34-3
 - HSRP 39-2
 - STP
 - パス コスト 12-29
 - バックボーン 17-8
 - ポート プライオリティ 12-28
 - 冗長リンクおよび UplinkFast 19-14
 - 初期設定 xliii
 - Express Setup 1-3

- デフォルト値 1-13
- 侵入検知システム
 - IDS 装置を参照
- 信頼性のあるタイム ソース、説明 6-3
- 信頼できるトランスポート プロトコル、EIGRP 35-37

- す
- スイッチ ソフトウェアの機能 1-2
- スイッチ プライオリティ
 - MSTP 18-22
 - STP 17-20
- スイッチ ポート 10-3
- スイッチ仮想インターフェイス
 - SVI を参照
- スイッチ間リンク
 - ISL を参照
- スイッチド パケット、ACL 上 32-40
- スイッチのクラスタ化テクノロジー 5-1
 - クラスタ、スイッチも参照
- スイッチのコンソール ポート 1-6
- スーパーネット 35-7
- スタートアップ コンフィギュレーション
 - 起動
 - 手動 3-14
 - 特定のイメージ 3-15
 - 起動のデフォルト設定 3-13
 - コンフィギュレーション ファイル
 - 自動ダウンロード 3-13
 - ファイル名の指定 3-13
 - 消去 B-20
- スタティック IP ルーティング 1-11
- スタティック MAC アドレッシング 1-8
- スタティック VLAN メンバシップ 12-3
- スタティック アクセス ポート
 - VLAN への割り当て 12-13
 - 定義 10-3, 12-4
- スタティック アドレス
 - アドレスを参照
- スタティック ルーティング 35-3
- スタティック ルート
 - IPv6 の設定 36-16
 - 設定 35-80
- スタブ エリア、OSPF 35-31
- スタブ ルーティング、EIGRP 35-42
- スタンバイ グループ、クラスタ
 - クラスタ スタンバイ グループと HSRP を参照
- スタンバイ コマンド スイッチ
 - 仮想 IP アドレス 5-10
 - クラスタ スタンバイ グループと HSRP も参照 5-2
 - 考慮事項 5-10
 - 設定
 - 定義 5-2
 - プライオリティ 5-9
 - 要件 5-3
- スタンバイ タイマー、HSRP 39-10
- スタンバイ リンク 20-2
- スタンバイ ルータ 39-2
- スティッキー ラーニング 24-10
- ステートレス自動設定 36-5
- ストーム制御
 - サポート 1-4
 - しきい値 24-2
 - 設定 24-3
 - 説明 24-2
 - ディセーブル化 24-5
 - 表示 24-20
- ストラタム、NTP 6-3
- スヌーピング、IGMP 23-2
- スパニング ツリーおよびネイティブ VLAN 12-22
- スパニングツリー プロトコル
 - STP を参照
- スプリット ホライズン、RIP 35-24

- せ
- 成功応答、VMPS 12-31
- セカンダリ VLAN 15-2
- セキュア HTTP クライアント
 - 設定 8-47
 - 表示 8-48
- セキュア HTTP サーバ 8-42
 - 設定 8-46
 - 表示 8-48
- セキュア MAC アドレス
 - 最大数 24-10
 - 削除 24-17
 - タイプ 24-9
- セキュア ポート、設定 24-9
- セキュリティ機能 1-7

- セキュリティ、ポート 24-9
 - 設計例、ネットワーク 1-16
 - 接続障害 44-16, 44-18, 44-20
 - 接続、安全なリモート 8-38
 - 設定時の注意事項、マルチ VRF CE 35-70
 - 設定の矛盾、メンバー スイッチとの接続の回復 44-13
 - 設定変更、ロギング 30-11
 - 設定ロガー 30-11
 - 設定、保存 3-12
 - セットアッププログラム
 - 故障したコマンド スイッチの交換 44-9, 44-11
- そ**
- 送信元 IP アドレスベース転送、EtherChannel 34-7
 - 送信元 MAC アドレス転送、EtherChannel 34-7
 - 送信元 / 宛先 IP アドレスベース転送、EtherChannel 34-7
 - 送信元 / 宛先 MAC アドレス転送、EtherChannel 34-7
 - 送信元アドレス
 - IPv4 ACL 内 32-13
 - IPv6 ACL 内 38-6
 - 即時脱退、IGMP 23-5
 - イネーブル化 37-10
 - ソフトウェア イメージ
 - tar ファイル形式、説明 B-22
 - 回復手順 44-2
 - ダウンロードおよびアップロードも参照
 - フラッシュ内の場所 B-22
 - リロードのスケジュール設定 3-17
 - ソフトウェア イメージのアップグレード
 - ダウンロードを参照
 - ソフトウェア障害、XMODEM による回復手順 44-2
- た**
- 対象読者 xli
 - ダイナミック ARP 検査
 - ARP ACL と DHCP スヌーピング エントリの相対的なプライオリティ 22-5
 - ARP キャッシュ ポイズニング 22-2
 - ARP スプーフィング攻撃 22-2
 - ARP パケットのレート制限
 - errdisable ステート 22-5
 - 設定 22-11
 - 説明 22-5
 - ARP 要求、説明 22-2
 - DHCP スヌーピング バインディング データベース 22-3
 - DoS 攻撃、回避 22-11
 - man-in-the middle 攻撃、説明 22-2
 - インターフェイス信頼状態 22-3
 - 機能 22-2
 - 消去
 - 統計情報 22-16
 - ログ バッファ 22-16
 - 設定
 - DHCP 環境 22-7
 - 着信 ARP パケットのレート制限 22-5, 22-11
 - 非 DHCP 環境の ACL 22-9
 - ログ バッファ 22-13
 - 設定時の注意事項 22-6
 - 説明 22-2
 - 妥当性チェック、実行 22-12
 - デフォルト設定 22-6
 - 統計情報
 - 消去 22-16
 - 表示 22-16
 - ネットワーク セキュリティ問題とインターフェイス信頼状態 22-3
 - 廃棄されたパケットのロギング、説明 22-5
 - 表示
 - ARP ACL 22-16
 - 信頼状態とレート制限 22-16
 - 設定および動作ステート 22-16
 - 統計情報 22-16
 - ログ バッファ 22-16
 - レート制限を超過した場合の errdisable ステート 22-5
 - ログ バッファ
 - 消去 22-16
 - 設定 22-13
 - 表示 22-16
 - ダイナミック VLAN メンバシップの再確認 12-35
 - ダイナミック アドレス
 - アドレスを参照
 - ダイナミック ポート VLAN メンバシップ
 - 再確認 12-35
 - 接続のタイプ 12-34
 - 説明 12-32
 - トラブルシューティング 12-36

- ダイナミック ルーティング 35-3
 - ダイナミックアクセス ポート
 - 設定 12-34
 - 定義 10-3
 - 特性 12-4
 - タイムゾーン 6-13
 - ダウンロード
 - イメージファイル
 - CMS の使用 1-3
 - FTP の使用 B-28
 - HTTP の使用 1-3, B-21
 - RCP の使用 B-33
 - TFTP の使用 B-24
 - 準備 B-23, B-27, B-32
 - デバイス マネージャまたは Network Assistant を使用 B-21
 - 古いイメージの削除 B-26
 - 目的 B-21
 - コンフィギュレーション ファイル
 - FTP の使用 B-14
 - RCP の使用 B-18
 - TFTP の使用 B-12
 - 準備 B-11, B-14, B-17
 - 目的 B-9
 - タグ付きパケット
 - IEEE 802.1Q 16-4
 - レイヤ 2 プロトコル 16-9
 - 脱退タイマーの設定、IGMP 23-6
 - 端末回線、パスワードの設定 8-6
- ち**
- 注意、説明 xlii
 - 注、説明 xlii
- つ**
- ツイストペア イーサネット、単一方向リンクの検出 27-2
- て**
- ディスタンス ベクタ プロトコル 35-3
 - ディスタンスベクトル マルチキャスト ルーティング プロトコル
 - DVMRP を参照
 - ディレクトリ
 - 作業ディレクトリの表示 B-4
 - 作成および削除 B-4
 - 変更 B-4
 - デバイス マネージャ
 - 機能 1-3
 - スイッチのアップグレード B-21
 - 説明 1-3, 1-5
 - 帯域内管理 1-6
 - 要件 xliii
 - デバイス検出プロトコル 25-2, 26-2
 - デバッグ
 - エラー メッセージ出力のリダイレクト 44-24
 - コマンドの使用方法 44-23
 - システム全体診断のイネーブル化 44-24
 - 特定機能に関するイネーブル化 44-23
 - デフォルト ゲートウェイ 3-11, 35-12
 - デフォルト ネットワーク 35-81
 - デフォルト ルーティング 35-3
 - デフォルト ルート 35-81
 - デフォルト設定
 - BGP 35-47
 - CDP 25-3
 - DHCP 21-9
 - DHCP Option 82 21-9
 - DHCP スヌーピング 21-9
 - DHCP スヌーピング バインディング データベース 21-9
 - DNS 6-17
 - EIGRP 35-38
 - EtherChannel 34-9
 - Flex Link 20-6
 - HSRP 39-5
 - IEEE 802.1Q トンネリング 16-5
 - IEEE 802.1x 9-21
 - IGMP 41-30
 - IGMP スヌーピング 23-7, 37-6, 37-7
 - IGMP スロットリング 23-27
 - IGMP フィルタリング 23-27
 - IP アドレス、IP ルーティング 35-5
 - IP ソース ガード 21-19
 - IP マルチキャスト ルーティング 41-11
 - IPv6 36-10
 - LLDP 26-4
 - MAC アドレス テーブル 6-22
 - MAC アドレス テーブル移動更新 20-6

- MSDP 42-4
 - MSTP 18-15
 - MVR 23-21
 - NTP 6-5
 - OSPF 35-28
 - PIM 41-11
 - RADIUS 8-20
 - RIP 35-21
 - RMON 29-3
 - RSPAN 28-10
 - SDM テンプレート 7-5
 - SNMP 31-7
 - SPAN 28-10
 - SSL 8-44
 - STP 17-12
 - TACACS+ 8-13
 - UDLD 27-5
 - VLAN 12-9
 - VLAN、レイヤ 2 イーサネット インターフェイス 12-22
 - VMPS 12-32
 - VTP 13-8
 - WCCP 40-6
 - イーサネット インターフェイス 10-16
 - オプションのスパニング ツリー設定 19-10
 - 音声 VLAN 14-4
 - 起動 3-13
 - システム メッセージ ロギング 30-4
 - システム名およびプロンプト 6-16
 - 自動 QoS 33-22
 - 初期スイッチ情報 3-3
 - ダイナミック ARP 検査 22-6
 - パスワードおよび権限レベル 8-2
 - バナー 6-19
 - 標準 QoS 33-31
 - フォールバック ブリッジング 43-4
 - プライベート VLAN 15-7
 - マルチ VRF CE 35-69
 - レイヤ 2 インターフェイス 10-16
 - レイヤ 2 プロトコル トンネリング 16-13
 - デュアル IPv4/IPv6 テンプレート 7-3, 36-1, 36-8
 - デュアルプロトコル スタック
 - IPv4 と IPv6 36-8
 - SDM テンプレートのサポート 36-8
 - 設定 36-13
 - デュアルパーパス アップリンク
 - LED 10-7
 - タイプの設定 10-17
 - 定義 10-7
 - リンクの選択 10-7
 - 転送遅延時間
 - MSTP 18-24
 - STP 17-22
 - 転送保留カウント
 - STP を参照
 - 転送、ユニキャスト要求 1-5
 - テンプレート、SDM 7-2
- と**
- 透過モード、VTP 13-4, 13-13
 - 等価コスト ルーティング 1-11, 35-79
 - 透過的な DSCP 33-40
 - 同期化、BGP 35-49
 - 統計情報
 - CDP 25-6
 - IEEE 802.1x 9-44
 - IP マルチキャスト ルーティング 41-54
 - LLDP 26-8
 - LLDP-MED 26-8
 - OSPF 35-36
 - QoS 入出力 33-80
 - RMON イーサネット グループ 29-5
 - RMON グループ履歴 29-5
 - SNMP 入出力 31-18
 - VTP 13-17
 - インターフェイス 10-31
 - トークンリング VLAN
 - VTP サポート 13-5
 - サポート 12-7
 - 独立 VLAN 15-2, 15-3
 - 独立ポート 15-3
 - 特権 EXEC モード 2-2
 - ドメイン ネーム システム
 - DNS を参照
 - ドメイン名
 - DNS 6-17
 - VTP 13-9
 - トラッキング オブジェクト 39-13
 - しきい値のウェイトによる 39-16
 - しきい値のパーセンテージによる 39-17

- ブール論理式による 39-15
 - トラッキングプロセス 39-13
 - トラッキングリスト
 - 設定 39-15
 - タイプ 39-15
 - トラッキングリストのブール論理式 39-15
 - トラッキング一覧のウェイトしきい値 39-16
 - トラッキング一覧のパーセンテージしきい値 39-17
 - トラップ
 - MAC アドレス通知の設定 6-23
 - イネーブル化 6-23, 31-12
 - 概要 31-2, 31-5
 - 通知タイプ 31-12
 - 定義 31-4
 - マネージャの設定 31-12
 - トラップドア メカニズム 3-2
 - トラフィック
 - 非分割 32-6
 - フラiddiingのブロッキング 24-8
 - 分割 32-6
 - 分割された IPv6 38-3
 - トラフィック ポリシング 1-9
 - トラフィックの優先処理
 - QoS を参照
 - トラフィックの抑制 24-2
 - トラブルシューティング
 - CiscoWorks 31-5
 - debug コマンド 44-23
 - PIMv1 および PIMv2 の相互運用性の問題 41-26
 - ping の使用 44-16
 - SFP のセキュリティおよび ID 44-15
 - show forward コマンド 44-25
 - traceroute 44-20
 - システム メッセージ ロギング 30-2
 - 障害 (クラッシュ) 情報の表示 44-28
 - 接続障害 44-16, 44-18, 44-20
 - 単一方向リンクの検出 27-1
 - パケット転送の設定 44-25
 - トランキング カプセル化 1-7
 - トランク
 - DTP をサポートしないデバイス 12-20
 - ISL 12-19
 - 許可 VLAN リスト 12-24
 - 設定 12-23, 12-29, 12-30
 - タグなしトラフィック用のネイティブ VLAN 12-27
 - パラレル 12-29
 - プルーニング適格リスト 12-26
 - ロードシェアリング
 - STP パス コストの設定 12-29
 - STP ポートプライオリティの使用 12-28
 - トランク フェールオーバー
 - リンクステート トラッキングを参照
 - トランク ポート
 - カプセル化 12-23, 12-29, 12-30
 - 設定 12-23
 - 定義 10-4, 12-4
 - トンネリング
 - IEEE 802.1Q 16-2
 - 定義 16-1
 - レイヤ 2 プロトコル 16-9
 - トンネル ポート
 - IEEE 802.1Q、設定 16-8
 - 説明 10-4, 16-2
 - 他の機能との非互換性 16-7
 - 定義 12-5
- な
- 内部ネイバー、BGP 35-49
 - 夏時間 6-14
 - 名前付き IPv4 ACL 32-16
- に
- 二重タグ パケット
 - IEEE 802.1Q トンネリング 16-3
 - レイヤ 2 プロトコル トンネリング 16-12
 - 認識不能な Type-Length-Value (TLV) のサポート 13-5
 - 認証
 - EIGRP 35-41
 - HSRP 39-10
 - NTP アソシエーション 6-5
 - RADIUS
 - 鍵 8-21
 - ログイン 8-23
 - TACACS+
 - 鍵 8-13
 - 定義 8-11

- ログイン 8-14
 - ポートベース認証も参照
 - ローカルモードでの AAA の実装 8-37
 - 認証鍵、ルーティングプロトコル 35-92
 - 認証失敗 VLAN
 - 制限付き VLAN を参照
- ね
- ネイティブ VLAN
 - IEEE 802.1Q トンネリング 16-5
 - 設定 12-27
 - デフォルト 12-27
 - ネイバー、BGP 35-60
 - ネットワーク アドミッション制御
 - NAC
 - ネットワーク管理
 - CDP 25-2
 - RMON 29-1
 - SNMP 31-1
 - ネットワークの構成例
 - サーバ集約および Linux サーバ クラスタ 1-18
 - 大規模ネットワーク 1-21
 - 中小規模ネットワーク 1-19
 - 長距離広帯域トランスポート 1-23
 - ネットワーク サービスの提供 1-16
 - ネットワーク パフォーマンスの向上 1-16
 - ネットワークの設計
 - サービス 1-16
 - パフォーマンス 1-16
- は
- バージョン依存型透過モード 13-5
 - バーチャルプライベート ネットワーク
 - VPN を参照
 - ハードウェア制限とレイヤ 3 インターフェイス 10-27
 - バインディング
 - DHCP スヌーピング データベース 21-7
 - IP ソース ガード 21-17
 - アドレス、Cisco IOS DHCP サーバ 21-7
 - バインディング データベース
 - DHCP スヌーピング
 - DHCP スヌーピング バインディング データベースを参照
 - アドレス、DHCP サーバ
 - DHCP、Cisco IOS サーバ データベースを参照
 - バインディング テーブル、DHCP スヌーピング
 - DHCP スヌーピング バインディング データベースを参照
 - パケットの変更、QoS 33-20
 - パス MTU ディスカバリ 36-4
 - パス コスト
 - MSTP 18-21
 - STP 17-19
 - パスワード
 - VTP ドメイン 13-10
 - 暗号化 8-3
 - 回復 44-4
 - 回復のディセーブル化 8-5
 - 概要 8-1
 - クラスタ 5-13
 - セキュリティ用 1-7
 - 設定
 - Telnet 8-6
 - イネーブル 8-3
 - イネーブル シークレット 8-3
 - ユーザ名 8-7
 - デフォルト設定 8-2
 - パスワードの暗号化 8-3
 - バックアップ インターフェイス
 - Flex Link を参照
 - バックアップ リンク 20-2
 - パッシブ インターフェイス
 - OSPF 35-33
 - 設定 35-90
 - バナー
 - 設定
 - MoTD ログイン 6-19
 - ログイン 6-20
 - デフォルト設定 6-19
 - 表示の時期 6-19
 - バナーを使用してユーザにメッセージ 6-19
 - パフォーマンス向上機能 1-4
 - パフォーマンス、ネットワークの設計 1-16
 - パラレルパス、ルーティング テーブル内 35-79
 - 範囲
 - インターフェイス 10-12
 - マクロ 10-14

- ひ
- 非 IP トラフィックのフィルタリング 32-29
 - ピア、BGP 35-60
 - 非階層型ポリシー マップ
 - 設定 33-49
 - 設定時の注意事項 33-34
 - 説明 33-9
 - 光ファイバ、単一方向リンクの検出 27-2
 - 非対称リンク、IEEE 802.1Q トンネリング 16-5
 - 非トランッキング モード 12-20
 - 表記法 xlii
 - コマンド xlii
 - 書体 xlii
 - マニュアル xlii
 - 例 xlii
 - 標準範囲 VLAN 12-6
 - コンフィギュレーション モード 12-8
 - 設定 12-6
 - 設定時の注意事項 12-7
 - 定義 12-1
- ふ
- ファイル
 - crashinfo、説明 44-28
 - tar
 - イメージ ファイル形式 B-22
 - 作成 B-6
 - 抽出 B-7
 - 内容表示 B-6
 - 拡張 crashinfo
 - 説明 44-28
 - 保存場所 44-28
 - 基本 crashinfo
 - 説明 44-28
 - 保存場所 44-28
 - コピー B-5
 - 削除 B-5
 - 内容表示 B-8
 - ファイル システム
 - 使用可能なファイル システムの表示 B-2
 - デフォルトの設定 B-3
 - ネットワーク ファイル システム名 B-5
 - ファイル情報の表示 B-3
 - ローカル ファイル システム名 B-2
 - 不一致、自動ネゴシエーション 44-14
 - フィルタリング
 - IPv6 トラフィック 38-4, 38-8
 - show および more コマンドの出力 2-11
 - VLAN 内 32-32
 - 非 IP トラフィック 32-29
 - フィルタリング、show および more コマンド出力 2-11
 - フィルタ、IP
 - ACL、IP を参照
 - ブート ストラップ ルータ (BSR)、説明 41-7
 - ブート ローダ
 - アクセス方法 3-15
 - 環境変数 3-15
 - 説明 3-2
 - トラップド ア メカニズム 3-2
 - プロンプト 3-15
 - フォールバック ブリッジング
 - STP
 - hello BPDU インターバル 43-9
 - VLAN ブリッジ STP 43-2
 - VLAN ブリッジ スパニング ツリー プライオリティ 43-6
 - インターフェイス プライオリティ 43-7
 - インターフェイスでディセーブル 43-10
 - キープ ア ライブ メッセージ 17-3
 - 最大アイドル時間 43-10
 - 転送遅延インターバル 43-9
 - パス コスト 43-8
 - SVI および ルーテッド ポート 43-2
 - VLAN ブリッジ STP 17-11
 - インターフェイスの接続 10-10
 - 概要 43-2
 - サポート 1-11
 - 設定時の注意事項 43-4
 - 説明 43-2
 - デフォルト設定 43-4
 - ブリッジ グループ
 - 機能 43-2
 - 削除 43-6
 - 作成 43-5
 - サポートされる数 43-5
 - 説明 43-2
 - 表示 43-11
 - ブリッジ テーブル
 - 消去 43-11
 - 表示 43-11

- フレーム転送
 - パケットの転送 43-2
 - パケットのフラッディング 43-2
- プロトコル、未サポート 43-4
- 保護ポート 43-5
- 未サポートプロトコル 43-4
- 不正アクセスの防止 8-1
- 物理ポート 10-3
- 不適合マークダウン 1-10
- プライオリティ
 - CoS の信頼 14-7
 - CoS の変更 14-7
 - HSRP 39-7
- プライベート VLAN
 - IP アドレス 15-4
 - SDM テンプレート 15-5
 - SVI 15-6
 - エンドステーションアクセス 15-3
 - コミュニティ VLAN 15-2, 15-3
 - コミュニティポート 15-3
 - 混合ポート 15-3
 - サブドメイン 15-2
 - セカンダリ VLAN 15-2
 - 設定 15-11
 - 設定作業 15-7
 - 設定時の注意事項 15-8, 15-9
 - デフォルト設定 15-7
 - 独立 VLAN 15-2, 15-3
 - 独立ポート 15-3
 - トラフィック 15-6
 - 複数のスイッチにまたがる 15-4
 - プライマリ VLAN 15-2, 15-3
 - ポート
 - コミュニティ 15-3
 - 混合 15-3
 - 混合ポートの設定 15-13
 - 設定時の注意事項 15-9
 - 説明 12-5
 - 独立 15-3
 - ホストポートの設定 15-12
 - マッピング 15-14
 - モニタ 15-16
 - 利点 15-2
- プライベート VLAN エッジポート
 - 保護ポートを参照
- プライマリ VLAN 15-2, 15-3
- プライマリ リンク 20-2
- フラッシュ デバイス、数 B-2
- フラッディング トラフィック、ブロッキング 24-8
- プリエンプト遅延、デフォルト設定 20-6
- プリエンプト、デフォルト設定 20-6
- ブリッジグループ
 - フォールバックブリッジングを参照
- ブリッジドパケット、ACL 上 32-41
- ブルーニング適格リスト
 - VLAN 13-16
 - VTP ブルーニング 13-5
 - 変更 12-26
- ブルーニング、VTP
 - イネーブル化
 - VTP ドメイン 13-15
 - ポート上 12-26
 - 概要 13-5
 - ディセーブル化
 - VTP ドメイン 13-15
 - ポート上 12-26
 - 例 13-6
- プレフィクスリスト、BGP 35-57
- フロー制御
 - 設定 10-21
 - 説明 10-21
- フローチャート
 - QoS 出力のキューイングおよびスケジューリング 33-17
 - QoS 入力 of キューイングおよびスケジューリング 33-15
 - QoS のポリシングおよびマーキング 33-10
 - QoS 分類 33-6
- ブロードキャスト ストーム 24-2, 35-14
- ブロードキャスト ストーム制御コマンド 24-4
- ブロードキャストパケット
 - 指定 35-14
 - フラッディング 35-14
- ブロードキャストフラッディング 35-17
- フローベースのパケット分類 1-9
- プロキシ ARP
 - IP ルーティングがディセーブルの場合 35-11
 - 設定 35-11
 - 定義 35-9
- ブロッキングパケット 24-8
- プロトコル依存モジュール、EIGRP 35-38

- へ
- ヘルプ、コマンドライン 2-4
- 編集機能
- イネーブル化およびディセーブル化 2-8
 - 画面幅よりも長いコマンドライン 2-10
 - 使用するキーストローク 2-9
- ほ
- ポート
- IEEE 802.1Q トンネル 12-5
 - VLAN への割り当て 12-13
 - アクセス 10-3
 - スイッチ 10-3
 - スタティック アクセス 12-4, 12-13
 - セキュア 24-9
 - ダイナミックアクセス 12-4
 - デュアルパーパス アップリンク 10-7
 - トランク 12-4, 12-19
 - ブロッキング 24-8
 - 保護 24-6
 - ルーテッド 10-5
- ポート ACL
- タイプ 32-3
 - 定義 32-2
- ポート セキュリティ
- QoS 信頼境界機能 33-39
 - イネーブル化 24-19
 - 違反 24-10
 - エージング 24-18
 - スティッキー ラーニング 24-10
 - 設定 24-13
 - 説明 24-9
 - 他の機能 24-11
 - デフォルト設定 24-11
 - トランク ポート 24-14
 - 表示 24-20
 - プライベート VLAN 24-19
- ポート チャネル
- EtherChannel を参照
- ポート プライオリティ
- MSTP 18-20
 - STP 17-18
- ポート ブロッキング 1-4, 24-8
- ポート メンバシップ モード、VLAN 12-4
- ポート シャットダウン 応答、VMPS 12-31
- ポート 信頼状態
- IP Phone 用ポート セキュリティの確保 33-39
 - QoS ドメイン間 33-41
 - QoS ドメイン内 33-37
 - サポート 1-9
 - 分類オプション 33-5
- ポートベース認証
- EAPOL-Start フレーム 9-6
 - EAP-Request/Identity フレーム 9-6
 - EAP-Response/Identity フレーム 9-6
 - VLAN への割り当て
 - AAA 許可 9-25
 - 設定作業 9-11
 - 説明 9-10
 - 特性 9-10
 - Wake-on-LAN、説明 9-17
 - アカウントティング 9-9
 - アクセス不能認証バイパス
 - 設定 9-36
 - 説明 9-14
 - 注意事項 9-24
- 音声 VLAN
- PVID 9-15
 - VVID 9-15
 - 説明 9-15
- 開始およびメッセージ交換 9-6
- カプセル化 9-3
- 旧版のリリースからのアップグレード 9-24, 33-26
- クライアント、定義 9-3
- ゲスト VLAN
- 設定時の注意事項 9-13, 9-14
 - 説明 9-12
- スイッチ
- RADIUS クライアント 9-3
 - プロキシとして 9-3
- 設定
- IEEE 802.1x 認証 9-25
 - RADIUS サーバ 9-27
 - VLAN 制限 9-34
 - アクセス不能認証バイパス 9-36
 - クライアントの手動での再認証 9-29
 - ゲスト VLAN 9-33
 - スイッチからクライアントへのフレーム再送信回数 9-31, 9-32

- スイッチからクライアントへのフレーム再送信時間 9-30
 - スイッチ上の RADIUS サーバ パラメータ 9-26
 - 待機時間 9-30
 - 定期的な再認証 9-29
 - ホスト モード 9-28
 - 設定時の注意事項 9-22
 - 説明 9-2
 - デバイスの役割 9-3
 - デフォルト設定 9-21
 - デフォルト値へのリセット 9-44
 - 統計情報の表示 9-44
 - 認証サーバ
 - RADIUS サーバ 9-3
 - 定義 9-3
 - マルチ ホスト モード、説明 9-8
 - 方式リスト 9-25
 - ポート
 - 音声 VLAN 9-15
 - 許可および無許可 9-7
 - 許可ステートおよび dot1x port-control コマンド 9-7
 - クリティカル 9-14
 - ポート セキュリティ
 - 音声 VLAN 9-17
 - 説明 9-16
 - 相互作用 9-16
 - マルチ ホスト モード 9-8
 - ホスト モード 9-8
 - マジック パケット 9-17
 - ユーザ単位 ACL
 - AAA 許可 9-25
 - RADIUS サーバ アトリビュート 9-11
 - 設定作業 9-12
 - 説明 9-11
 - 保護ポート 1-8, 24-6
 - ホスト ポート
 - 種類 15-3
 - 設定 15-12
 - ホスト名、クラスタ内 5-13
 - ホスト、ダイナミック ポート上の制限 12-36
 - ポリサー
 - 数 33-34
 - 設定
 - 一致する各トラフィック クラス 33-49
 - 複数のトラフィック クラス 33-60
 - 説明 33-4
 - タイプ 33-9
 - 表示 33-80
 - ポリシー マップ、QoS
 - SVI の階層
 - 設定 33-53
 - 設定時の注意事項 33-34
 - 説明 33-11
 - 階層型 33-8
 - 説明 33-7
 - 特性 33-49
 - 表示 33-80
 - 物理ポートの非階層型
 - 設定 33-49
 - 設定時の注意事項 33-34
 - 説明 33-9
 - ポリシーベース ルーティング
 - PBR を参照
 - ポリシング
 - 階層型
 - 階層型のポリシー マップを参照
 - 説明 33-4
 - トークン バケット アルゴリズム 33-9
- ## ま
- マーキング
 - 集約ポリサーのアクション 33-60
 - 説明 33-4, 33-8
 - ポリシー マップのアクション 33-49
 - マクロ
 - SmartPort マクロを参照
 - マジック パケット 9-17
 - マッピング テーブル、QoS
 - 設定
 - CoS/DSCP 33-63
 - DSCP 33-62
 - DSCP/CoS 33-66
 - DSCP/DSCP 変換 33-67
 - IP precedence/DSCP 33-64
 - ポリシング済み DSCP 33-65
 - 説明 33-12
 - マニュアル
 - 対象読者 xli
 - 目的 xli

- マルチ VRF CE
 - サポート 1-11
 - 設定 35-69
 - 設定時の注意事項 35-70
 - 設定例 35-73
 - 定義 35-67
 - デフォルト設定 35-69
 - ネットワーク コンポーネント 35-69
 - パケット転送処理 35-69
 - 表示 35-77
 - モニタ 35-77
 - マルチキャスト TV アプリケーション 23-19
 - マルチキャスト VLAN 23-18
 - マルチキャスト VLAN レジストレーション
 - MVR を参照
 - マルチキャスト グループ
 - 加入 23-3
 - 静的加入 23-10, 37-8
 - 即時脱退 23-5
 - 脱退 23-5
 - マルチキャスト ストーム 24-2
 - マルチキャスト ストーム制御コマンド 24-4
 - マルチキャスト パケット
 - ACL 上 32-42
 - ブロッキング 24-8
 - マルチキャスト ルータ インターフェイス、モニタ 23-17, 37-13
 - マルチキャスト ルータ ポート、追加 23-10, 37-9
 - マルチドメイン認証
 - MDA
- み**
- ミラーリング、トラフィック解析 28-2
- む**
- 無許可ポート、IEEE 802.1x 9-7
 - 矛盾、設定 44-13
- め**
- メトリック変換、ルーティング プロトコル間 35-85
 - メトリック、BGP 内 35-54
 - メトロ タグ 16-3
- メンバー スイッチ
 - 管理 5-15
 - 候補スイッチ、クラスタ、スイッチ、クラスタ スタンバイ グループ、およびコマンド スイッチも参照
 - 自動検出 5-4
 - 接続の回復 44-13
 - 定義 5-2
 - パスワード 5-12
 - 要件 5-3
 - メンバシップ モード、VLAN ポート 12-4
- も**
- モジュール番号 10-11
 - モニタ
 - BGP 35-65
 - CDP 25-6
 - CEF 35-79
 - EIGRP 35-44
 - Flex Link 20-12
 - HSRP 39-12
 - IEEE 802.1Q トンネリング 16-20
 - IGMP
 - スヌーピング 23-17, 37-13
 - フィルタ 23-31
 - IP
 - アドレス テーブル 35-18
 - マルチキャスト ルーティング 41-54
 - ルート 35-93
 - IPv4 ACL の設定 32-43
 - IPv6 36-23
 - IPv6 ACL 設定 38-10
 - MAC アドレス テーブル移動更新 20-12
 - MSDP ピア 42-18
 - MVR 23-25
 - OSPF 35-36
 - RP マッピング情報 41-26
 - SA メッセージ 42-18
 - SFP ステータス 10-31, 44-15
 - VLAN 12-18
 - フィルタ 32-43
 - マップ 32-43
 - VMPS 12-36
 - VTP 13-17
 - アクセス グループ 32-43

インターフェイス 10-31
 機能 1-12
 スイッチ間を流れるトラフィック 29-2
 速度およびデュプレックス モード 10-20
 単一方向リンクのケーブル 27-2
 トラフィックの抑制 24-20
 トンネリング 16-20
 フォールバック ブリッジング 43-11
 プライベート VLAN 15-16
 プローブによるネットワーク トラフィック 解析
 28-2
 ポート
 ブロッキング 24-20
 保護 24-20
 マルチ VRF CE 35-77
 マルチキャスト ルータ インターフェイス
 23-17, 37-13
 レイヤ 2 プロトコル トンネリング 16-20

ゆ

ユーザ EXEC モード 2-2
 ユーザ名ベースの認証 8-7
 ユニキャスト MAC アドレス フィルタリング 1-5
 CPU パケット 6-26
 スタティック アドレスの追加 6-27
 設定時の注意事項 6-26
 説明 6-26
 ブロードキャスト MAC アドレス 6-26
 マルチキャスト アドレス 6-26
 ルータ MAC アドレス 6-26
 ユニキャスト ストーム 24-2
 ユニキャスト ストーム 制御 コマンド 24-4
 ユニキャスト トラフィック、ブロッキング 24-8

よ

要件

Network Assistant xliii
 クラスタ xliiii
 デバイス マネージャ xliiii

ら

ライン コンフィギュレーション モード 2-3

り

リセット、BGP 内 35-52
 リモート SPAN 28-3
 RSPAN を参照
 履歴
 コマンドの呼び出し 2-7
 説明 2-7
 ディセーブル化 2-8
 バッファ サイズの変更 2-7
 履歴テーブル、Syslog メッセージの重大度および数
 30-10
 リロードのスケジュール 3-17
 リロード、ソフトウェア 3-17
 リンク冗長性
 Flex Link を参照
 リンクステート トラッキング
 設定 34-24
 説明 34-22
 リンクステート プロトコル 35-3
 リンクに対してローカルなユニキャスト アドレス
 36-4
 リンクの失敗、単一方向の検出 18-8
 リンク、単一方向 27-2
 隣接テーブル、CEF 35-78

る

ルータ ACL
 タイプ 32-5
 定義 32-2
 ルータ ID、OSPF 35-35
 ルーティング
 情報の再配信 35-82
 スタティック 35-3
 ダイナミック 35-3
 デフォルト 35-3
 ルーティング ドメイン 連合、BGP 35-63
 ルーティング プロトコルの 管理距離 35-80
 ルーティングできない プロトコルの 転送 43-1
 ルーテッド パケット、ACL 上 32-41
 ルーテッド ポート
 IP アドレス 10-27, 35-4
 スイッチ クラスタ 5-8
 設定 35-4
 定義 10-5

- ルートガード
 - イネーブル化 19-16
 - サポート 1-6
 - 説明 19-8
 - ルート サマライズ、OSPF 35-33
 - ルート スイッチ
 - MSTP 18-18
 - STP 17-15
 - ルート ターゲット、VPN 35-69
 - ルート ダンピング化、BGP 35-64
 - ルート マップ
 - BGP 35-55
 - ポリシーベース ルーティング 35-86
 - ルート リフレクタ、BGP 35-63
 - ルート 計算タイマー、OSPF 35-33
 - ルート 選択、BGP 35-53
 - ループ ガード
 - イネーブル化 19-17
 - サポート 1-7
 - 説明 19-9
- れ
- 例
- ネットワークの構成 1-16
 - 表記法 xlii
- レイヤ 2 traceroute
- 1 ポートに複数のデバイス 44-19
 - ARP 44-18
 - CDP 44-18
 - IP アドレスおよびサブネット 44-18
 - MAC アドレスと VLAN 44-18
 - 使用時の注意事項 44-18
 - 説明 44-18
 - ブロードキャストトラフィック 44-18
 - マルチキャストトラフィック 44-18
 - ユニキャストトラフィック 44-18
- レイヤ 2 インターフェイス、デフォルト設定 10-16
- レイヤ 2 フレーム、CoS での分類 33-2
- レイヤ 2 プロトコル トンネリング
- EtherChannel 用の設定 16-16
 - 設定 16-12
 - 注意事項 16-13
 - 定義 16-9
 - デフォルト設定 16-13
- レイヤ 2 プロトコルパケットのシャットダウンしきい値 16-13
- レイヤ 2 プロトコルパケットのドロップしきい値 16-13
- レイヤ 3 インターフェイス
- IP アドレスの割り当て 35-6
 - IPv4 および IPv6 アドレスの割り当て 36-13
 - IPv6 アドレスの割り当て 36-11
 - タイプ 35-4
 - レイヤ 2 モードからの変更 35-6
- レイヤ 3 機能 1-10
- レイヤ 3 パケット、分類方法 33-2
- レポートの抑制、IGMP
- 説明 23-6
 - ディセーブル化 23-16, 37-12

ろ

- ローカル SPAN 28-2
- ロードバランシング 39-4
- ログ メッセージ
 - システム メッセージ ロギングを参照
- ログ メッセージのシーケンス番号 30-8
- ログ メッセージのタイム スタンプ 30-8
- ログ メッセージ、ACL 32-10
- ログイン バナー 6-19
- ログイン 認証
 - RADIUS 8-23
 - TACACS+ 8-14